

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度					
事業番号	104	事業名	スポーツの杜再整備事業		担当課		生涯学習課					
					予算区分（款-項-目-中事業）		9-5-2-5 スポーツの杜再整備事業					
			(中事業名) スポーツの杜再整備事業		決算書ページ		- ~ -					
I 基本情報	総合計画	基本目標	4	誰もがいきいきと安心して暮らせるまち	5	いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪						
		政策	3	いくつになっても元気でいきいきと輝ける暮らしの推進	1	まちの資源を生かした市民同士の交流の促進						
		施策	(3)	健康づくりの環境の整備	(3)	スポーツを楽しむ環境の整備						
	その他	開始年度	令和5年度									
		終了予定年度	令和13年度	☐	未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性			市民とのみ協働可			
		根拠法令等	—									
		関連計画	第6次長久手市総合計画、スポーツ推進計画、長久手市公共施設等総合管理計画									
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)				
		【対象】 ☐ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☒ その他 対象の数： 2 【事業内容】 借地となっている長久手スポーツの杜用地を公有地化し、市内に点在する屋外スポーツ施設の集約化も考慮し、スポーツを楽しむ環境を整備する。		【アクションプラン指標】 スポーツ施設整備数 【その他の指標】 用地の公有地化		市内に分散された施設をスポーツの杜に集約する。 (成果指標名) 菖蒲池テニスコート 市民テニスコート		大 事 業 共 通 菖蒲池テニスコートと市民テニスコートがスポーツの杜に集約化・統廃合され、菖蒲池テニスコートの借地料が返還される。また、施設を集約することにより、指定管理料の削減が期待される。				
II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度	
		1	【アクションプラン指標】 スポーツ施設整備数	施設	基準値	—	目標値	—	—	—	—	
					目標値	—	実績	—	—	—	—	
		2	【その他の指標】 用地の公有地化	筆	基準値	—	目標値	—	—	—	19	
					目標値	—	実績	—	—	—	—	
		3			基準値	—	目標値	—	—	—	—	
					目標値	—	実績	—	—	—	—	
		4			基準値	—	目標値	—	—	—	—	
	目標値				—	実績	—	—	—	—		
	エピソード	事業開始の背景		市内に点在している屋外施設の老朽化対策として、スポーツの杜を拠点として集約化・統廃合し、施設のランニングコストを削減する。また、スポーツの杜を整備することで、公園も整備されるため、より多くの市民が活用できる。								
		各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由										
		R6	令和6年度は、スポーツの杜再整備事業に関連する基本計画策定業務を発注する予定であったが、集約する施設の選定、関係機関との協議及び庁内での方針決定の合意に時間を要したため、委託の予算を令和7年度に繰り越した。			R7						
		R8				R9						

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標							
		菖蒲池テニスコート 市民テニスコート	基	5 年度	6 年度	【現状】 7 年度	8 年度	9 年度			
				-	-	-	-	-			
		成果達成状況			指標目標値の根拠						
		— A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている									
	評価の理由、分析										
	加える変化（ACTION）	今後の方向性		今後の方向性の理由							
		C A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		スケジュールに従い、借地しているスポーツの杜の公有地化及び菖蒲池テニスコートを返還していく。							
		改善ポイント (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)									
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容					見直し可能年度			
1 スポーツの杜借地料		☐ 拡充 ☒ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止	スポーツの杜再整備事業で、借地している用地を公有地化し、施設を集約することで、スポーツの杜借地料の支出を削減する。					R9			
2 菖蒲池テニスコート借地料	☐ 拡充 ☒ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止	スポーツの杜再整備事業で、テニスコート施設を集約することで、菖蒲池テニスコート借地料の支出を削減する。					R10				
Ⅳ 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）		3年間の推移	（単位：千円）		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度
		B A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止			事業費		予算	決算	予算	決算	予算
		理由			特定財源	合計額	0	0	0	0	0
		再整備に伴い、令和8年度は、都市計画決定を行う。				(内 国費)	0	0	0	0	0
						(内 県費)	0	0	0	0	0
						(内 諸収入)	0	0	0	0	0
						(内 その他)	0	0	0	0	0
		積算額			一般財源	31,819	31,819	87,154	36,697	87,154	
		スポーツの杜借地料 21,942千円 菖蒲池テニスコート借地料 14,755千円			R7年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R6年度予算額）＞ スポーツの杜再整備検討委託50413千円（50413千円） 不動産鑑定評価委託44千円（44千円） スポーツの杜借地料21,942千円（21,942千円） 菖蒲池テニスコート借地料14,755千円（14,755千円）						

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度					
事業番号	105	事業名	古戦場公園再整備事業		担当課		生涯学習課					
					予算区分（款-項-目-中事業）		9-4-5-4 古戦場公園再整備事業					
			（中事業名）古戦場公園再整備事業		決算書ページ		236 ~ 237		一般			
I 基本情報	総合計画	基本目標	5 ; いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪									
		政策	1 ; まちの資源を生かした市民同士の交流の促進									
		施策	(1) ; 歴史の次世代への継承									
	その他	開始年度	平成29年度									
		終了予定年度	令和7年度 ☐ 未定		市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働可					
		根拠法令等	文化財保護法、都市公園法									
		関連計画	古戦場公園再整備基本計画									
	事業の概要・目的	①事業概要 （どんな取組を行うのか）		②活動指標 （取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか）		③中間成果 （①【対象】がどのような 状態に変わるのか）		④最終成果 （大事業の将来像）				
		【対象】 ☒ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☐ その他 対象の数： 60,000人 【事業内容】 貴重な文化財である国指定史跡長久手古戦場を保護継承し、長久手古戦場野外活動施設の見直しも含めて一帯を有効活用し、歴史の学びの場、体験の場、交流の場の拠点となるよう古戦場公園を再整備します。		【アクションプラン指標】 工事進捗率 【その他の指標】		— （成果指標名） —		国指定史跡「長久手古戦場」の文化財としての本質的価値を見出すことを目的として、野戦場であった当時の状況を再現し、再整備を行うことで、古戦場公園により多くの市民が関心を持って訪れてもらえるようにする。				
								大事業共通				
II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2025年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度	R9(2027)年度	R10(2028)年度	
		【アクションプラン指標】		%	基準値	9	目標値	67	100	—	—	—
		工事進捗率【累計】			目標値	100	実績	65				
		2			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		3			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		4			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		エピソード	事業開始の背景 国指定史跡長久手古戦場は、戦国時代の古戦場としては、全国に3箇所しかない希少な国指定史跡であるが、市民にあまり認識されていない状況であった。									
各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由												
R6	【取組内容】 史跡長久手古戦場ガイダンス施設建設工事及び展示制作を実施した。また、史跡地内の園路整備工事及び芝生広場整備工事を実施した。 【目標値が未達成の理由】 活動指標である工事進捗率は、事業費を元に算定しているため、入札請負残額が発生したことで、目標値よりも2%低くなった。				R7							
R8					R9							

III 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標										
		—		年度		年度		【現状】	年度		年度		年度	
		成果達成状況				指標目標値の根拠								
		—	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている											
		評価の理由、分析												
		今後の方向性		今後の方向性の理由										
			A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止											
		改善ポイント												
(成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)														
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容								見直し可能年度			
1		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止												
2		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止												
3		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止												
IV 費用	加える変化（ACTION）	R8年度の費用（R7年度比）		3 年 間 の 推 移	(単位：千円)	R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度				
		D	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		事業費	予算	決算	予算	決算	予算				
						29,766	29,765	712,768	692,595	428,067				
		理由			合計額	21,494	21,494	242,600	242,588	205,450				
		本事業は、令和7年度で完了予定であるため。			(内 国費)	1,000	1,000	142,100	154,532	109,000				
					(内 県費)	0	0	0	0	0				
					(内 諸収入)	0	0	0	0	0				
					(内 その他)	20,494	20,494	100,500	88,056	96,450				
		積算額			一般財源	8,272	8,271	470,168	450,007	222,617				
		令和8年度予算なし			R7年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R6年度予算額）＞ 古戦場公園再整備アドバイザー会議報償金 73千円（73千円） 特別旅費 50千円（79千円） 消耗品費 1,727千円（0千円） 食糧費 2千円（2千円） 印刷製本費 803千円（0千円） 確認申請等手数料 400千円（0千円） 長久手合戦図屏風複製品制作業務委託 0千円（2,500千円） ガイダンス施設建設工事監理業務委託 6,734千円（23,639千円） 展示制作業務委託 279,197千円（22,000千円） 史跡地内工事監理業務委託 0千円（12,202千円） 収蔵品運搬業務委託 4,405千円（0千円） オープニング周知等業務委託 1,000千円（0千円） 道路通行料 5千円（10千円） ガイダンス施設建設工事 53,442千円（553,318千円） 園路広場整備工事 0千円（98,945千円） 関連設備等整備工事 74,199千円（0千円） ガイダンス施設運営備品購入 6,030千円（0千円）									

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度					
事業番号	106	事業名	歴史民俗体験施設整備事業		担当課		生涯学習課					
			(中事業名) 歴史民俗体験施設整備事業		予算区分（款-項-目-中事業）		9-4-5-2 歴史民俗体験施設整備事業					
					決算書ページ		235		～		一般	
I 基本情報	総合計画	基本目標	5	いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪								
		政策	1	まちの資源を生かした市民同士の交流の促進								
		施策	(1)	歴史の次世代への継承								
	その他	開始年度	平成29年度									
		終了予定年度	令和8年度	☐	未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働可				
		根拠法令等	文化財保護法									
		関連計画	古戦場公園再整備基本計画									
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)				
		【対象】 ☒ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☐ その他 対象の数： 60,000人		【アクションプラン指標】 整備する資料館の棟数 【その他の指標】		— (成果指標名) —		大 事 業 共 通 かつての長久手のくらしぶり や歴史民俗文化を後世に継承 する古民家や歴史民俗資料館 を活用して、体験活動や継承 活動を市民が主体で行うよう になる。				
		【事業内容】 長久手の歴史や警固祭りなどの民俗行事、昔ながらの生活に関する展示・解説を行う歴史民俗資料館を古戦場公園に整備します。合わせて、市内に現存する最古級の烏居建て形式の古民家を移設し、歴史民俗資料館の附帯施設として整備するとともに、国登録有形文化財に登録することを目指します。										
II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2026年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度	
		1	【アクションプラン指標】 整備する資料館の棟数【累計】	棟	基準値	—	目標値	—	1	2	—	—
					目標値	2	実績	—				
		2			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		3			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		4			基準値		目標値					
					目標値		実績					
	エピソード	事業開始の背景		既存郷土資料室が老朽化しており、長久手の歴史や警固祭りなどの民俗行事、昔ながらの生活に関する展示・解説を行う施設をリニューアルする必要があった。また、長久手町史に掲載されている古民家12棟の内、6棟が滅失してしまった。市が所有する市内最古級の古民家を市の歴史的遺産として大切に保護する必要があった。								
		各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由										
		R6	【取組内容】 歴史民俗資料館の基本設計及び古民家の解体工事を実施した。また、移築後の古民家で様々な体験活動を行うにあたり、より多くの市民に携わっていただくため、古民家の解体工事から市民に参加いただいた（参加人数18人）。		R7							
		R8			R9							

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標										
		—		年度	▶	年度	▶	【現状】	年度	▶	年度	▶	年度	
		成果達成状況				指標目標値の根拠								
		— A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている												
		評価の理由、分析												
	加える変化（ACTION）	今後の方向性		今後の方向性の理由										
		— A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止												
		改善ポイント (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)												
		見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容									見直し可能年度
		1		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止										
Ⅳ 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）		3年間の推移	(単位：千円)		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度			
		A A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止	理由		事業費		予算	決算	予算	決算	予算			
					合計額		111	73	29,112	28,396	85,658			
					特定財源		内 国費		0	0	0	0	38,000	
		内 県費		0	0	0	0	0						
		内 諸収入		0	0	0	0	0						
		内 その他		0	0	20,000	20,000	38,583						
一般財源		111	73	9,112	8,396	9,075								
積算額		R7年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R6年度予算額）＞												
食糧費 20千円 賄材料費 30千円 確認申請等手数料 111千円 歴史民俗資料館建設工事監理業務委託 4,851千円 展示制作委託 10,142千円 国登録支援及び移築工事報告書策定業務委託 4,620千円 展示薫蒸委託 660千円 収蔵品運搬委託 1,945千円 歴史民俗資料館建設工事 223,069千円 備品購入費 15,504千円 水道分担金 129千円 合計 261,081千円		消耗品費 0千円（515千円） 食糧費 20千円（20千円） 賄材料費 30千円（30千円） 確認申請等手数料 398千円（0千円） 展示設計委託 5,830千円（0千円） 歴史民俗資料館実施設計業務委託 3,245千円（0千円） 古民家建築工事監理業務委託 2,715千円（0千円） 歴史民俗資料館基本設計業務委託 0千円（3,960千円） 古民家等解体工事監理業務委託 0千円（7,469千円） 古民家建築工事 73,291千円（0千円） 古民家等解体工事 0千円（15,570千円） 古戦場公園西側ゾーン砂利駐車場工事 0千円（570千円） 古戦場公園西側ゾーン造成工事 0千円（978千円） 水道分担金 129千円（0千円）												

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度					
事業番号	107	事業名	地域資料収集事業		担当課		中央図書館					
			(中事業名) 中央図書館運営事業		予算区分（款-項-目-中事業）		9-4-4-1 中央図書館運営事業					
					決算書ページ		227 ~ 228 一般					
I 基本情報	総合計画	基本目標	5	いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪								
		政策	1	まちの資源を生かした市民同士の交流の促進								
		施策	(1)	歴史の次世代への継承								
	その他	開始年度	平成4年度									
		終了予定年度	年度	☒	未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働可				
		根拠法令等	図書館法									
		関連計画	長久手市教育振興基本計画									
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		アウトプット（詳細はⅡへ）		③中間成果 (①【対象】がどのような状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)				
		【対象】 ☒ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☒ その他 対象の数： 81,890人（うち人口61,381人） 【事業内容】 地域に根ざした資料を次世代に継承するため、司書が専門的視点で郷土、行政に関する資料を収集します。		【アクションプラン指標】 郷土資料等の資料数（冊）の増加 【その他の指標】		郷土資料（地域資料）が充実し、市民の資料を閲覧する機会や貸出が増える。 (成果指標名) 郷土資料等の年間貸出冊数		大事業共通 乳幼児から高齢者まで全ての市民が集う社会教育施設として読書環境が整い、図書館が生涯を通じて読書に親しむ場となる。				
II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度	R9(2027)年度	R10(2028)年度	
		1	【アクションプラン指標】 郷土資料等の資料数【累計】	冊	基準値	8,763	目標値	8,750	8,900	9,050	9,200	9,350
					目標値	9,350	実績	8,957				
		2			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		3			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		4			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		事業開始の背景		平成4年度に開館して以降、図書館法に基づき、郷土資料（地域資料）を収集し、市民へ提供している。館内に特別資料閲覧室を設置し、貴重資料の保存に努めている。令和4年度から郷土資料の電子化を行い、ホームページへの公開を始めた。								
	各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由											
	エピソード	R 6	貴重資料の保存のため、著作権の許諾を得た3冊の郷土資料の電子データ化を行い、図書館ホームページへ公開した。			R 7						
		R 8				R 9						

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標										
		郷土資料等の年間貸出冊数	冊	R2 年度	▶	R4 年度	▶	【現状】 R6 年度	▶	R8 年度	▶	R10 年度		
				301		329		303		305		307		
		成果達成状況						指標目標値の根拠						
		B	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている						出版冊数が他の資料と比べて少なく、資料数の大きな増加は見込めないため、貸出冊数も現状維持を見込み、R6年度実績の1%増加を最終目標値とし、その中間値をR8年度目標値とした。					
			評価の理由、分析											
			郷土資料等は永年保存する資料が多いため館内閲覧のみが多く、貸出冊数は他の資料と比べると少ないが、一定数の貸出があり必要性を感じている。											
		加える変化（ACTION）		今後の方向性	今後の方向性の理由									
				B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		郷土資料等の収集を継続し、蔵書増加に努める。限られた配架場所の中で、貸出や閲覧につながる効率的な取組を検討していく。							
					改善ポイント (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)									
見直しの余地のある取組名				見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容								見直し可能年度	
1	郷土資料等の配架			☐ 拡充 ☒ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止	貴重資料を保存するため、多くの郷土資料等は1階閲覧室ではなく2階特別資料閲覧室に配架している。1階閲覧室で気軽に手に取れるよう、貸出できる資料を増やし、配架場所の検討を進める。									
2				☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止										
3				☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止										
Ⅳ 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）			R8年度の費用（R7年度比）										
				B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		(単位：千円)		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度	
					事業費		予算	決算	予算	決算	予算			
		理由		事業費	76,646	69,456	106,250	108,901	110,313					
		郷土資料等収集に必要な図書購入をはじめ、子ども読書活動推進計画にかかる館内及び連携事業、窓口等業務委託、及び図書館システム運用を継続して実施するため。	特定財源	合計額	104	121	114	163	121					
			(内 国費)											
			(内 県費)											
			(内 諸収入)	104	121	114	163	121						
			(内 その他)											
		一般財源	76,542	69,335	106,136	108,738	110,192							
積算額	R7年度予算の内訳 ＜細々節名、予算額、（R6年度予算額）＞													
未定	会計年度任用職員報酬 15,752千円 (13,935千円) コンピュータ運用業務委託 6,288千円 (5,506千円) コンピュータ賃借料 3,272千円 (2,513千円) 会計年度任用職員期末手当 3,292千円 (2,783千円) 会計年度任用職員通勤手当 2,765千円 (2,329千円) 光熱水費 12,040千円 (11,757千円) 印刷製本費 400千円 (380千円) 自動車点検手数料 11千円 (0千円) 放送受信料 43千円 (42千円) 図書館運営協議会委員報酬 73千円 (73千円) 普通旅費 10千円 (10千円) 特別旅費 20千円 (20千円) 会計年度任用職員旅費 12千円 (12千円) 消耗品費 2,449千円 (2,449千円) 燃料費 31千円 (31千円) 修繕料 60千円 (60千円) 道路通行料 5千円 (5千円) 自動車借上料 129千円 (129千円) 図書情報使用料 1,540千円 (1,540千円) 図書資料 17,000千円 (17,000千円) 日本図書館協会負担金 37千円 (37千円) 県図書館協会負担金 9千円 (9千円) 県公立図書館協議会負担金 5千円 (5千円) 尾張部公共図書館連絡協議会研修会負担金 2千円 (2千円) 図書館職員講習会負担金 10千円 (10千円) 洗車手数料 4千円 (7千円) 食糧費 7千円 (14千円) 図書情報作成委託 45千円 (54千円) 車量税 0千円 (9千円) 通信運搬費 360千円 (372千円) 自動車損害保険料 14千円 (32千円) 車検手数料 0千円 (33千円) 図書消毒機保守委託 42千円 (83千円) 図書資料整備委託 50千円 (92千円) 施設管理用備品 0千円 (58千円) 会計年度任用職員通勤費 250千円 (359千円) 窓口等業務委託 44,286千円 (44,500千円)													

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度					
事業番号	108	事業名	文化芸術ワークショップ事業 (中事業名) なし		担当課		生涯学習課					
					予算区分（款-項-目-中事業）		なし					
					決算書ページ		- ~ -					
I 基本情報	総合計画	基本目標	5	いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪								
		政策	1	まちの資源を生かした市民同士の交流の促進								
		施策	(2)	文化芸術による交流								
	その他	開始年度	2021									
		終了予定年度	年度	☒	未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働可				
		根拠法令等	文化芸術基本法、劇場・音楽堂等の活性化に関する法律									
	関連計画	ながくて未来図（長久手市第6次総合計画）（H31. 3） 第3次長久手市文化芸術マスタープラン（H30. 3）										
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		アウトプット（詳細はⅡへ）		③中間成果 (①【対象】がどのような状態になるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)				
		【対象】 ☒ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☐ その他 対象の数： 61000 【事業内容】 文化芸術をまちづくりに生かすため、福祉、観光等の専門家と市民や文化の家利用者との意見交換の場を創出し、他部署と連携したワークショップやフォーラムを開催します。		【アクションプラン指標】 連携して行う事業数 【その他の指標】		市役所内の他の課や、他部署、他機関の職員が事前準備などで関わった人数 (成果指標名) 連携による担当者、関係者数の累計数		大 事 業 共 通 多様な課題や、目的に対して、文化や芸術を活用して、課題に対しての新しいアプローチや、賑わいの創出などを生むことで、文化や芸術の活用による新しい価値が関わった人に発見される。				
II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度	
		1	【アクションプラン指標】 連携して行う事業数	事業	基準値	2	目標値	3	3	3	3	
					目標値	3	実績	3				
		2			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		3			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		4			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		エピソード	事業開始の背景		2021年より、文化芸術基本法に沿った、文化や芸術を活用した多様な分野へのアプローチを実践するべく、まずは市役所内で課を越えて、文化や芸術を活用した事業を計画した。（例：男女共同参画啓発事業 演奏付き講演会、敬老事業コンサート企画、福祉アウトリーチ、アーティストによる引きこもり支援の場訪問等）							
	各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由											
	R 6		2021年から継続している、男女共同参画事業において、ボーカロイドの先駆者でアーティストの鮎川ばて氏をお招きして講演会を開催した。また敬老事業では、地元アーティストによる演奏会を企画し参加者から好評を得た。またひきこもり支援の場での美術系アーティストと気軽にしゃべれる場も、数字としての評価はしにくい部分だが成果があった。アーティストのやりがいや、新しい発見の場にもなっている。		R 7							
	R 8				R 9							

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）		単位	成果指標の推移と目標									
		連携による担当者、関係者数の累計数		人	R4 年度		R5 年度		【現状】 R6 年度		R7 年度		R8 年度	
					11		18		20		25		30	
		成果達成状況					指標目標値の根拠							
		A		A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている			他課の職員と、文化や芸術を取り入れることで、事業や課題にアプローチする新しい手法や、新しい価値を見いだす機会となり、各課の事業が充実し、興味・関心を市民のみなさんが向けることにつながる。連携を経験したことのある職員が増え、毎年蓄積されていくことを目指す。同じ課と同じ連携を繰り返すのではなく、新しい連携を模索していく。その課の関係職員数が毎年プラスされていき、連携経験のある職員を増やしていくため年度ごとにリセットされない累計数を中間成果指標とする。							
		評価の理由、分析												
		他の課の担当者と、その担当者が抱える事業や課題に対して、相談と議論を重ね、目的に沿った事業を制作することができた。												
		今後の方向性		今後の方向性の理由										
		A		A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止			既存の多様な事業にも、文化や芸術を取り入れることで、新しい価値や、市民の関心を得ることにつながる機会を生むこととなる可能性があるため、連携する事業を増やし、まちづくりに文化や芸術を活用したい。							
		改善ポイント (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)												
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容									見直し可能年度		
1	文化芸術による連携	☒ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止	まだ連携をしたことがない課とも、連携を試みる。このために、市役所内部でも文化や芸術を活用する提案を行っていき、連携を増やしていく。									R8		
2		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止												
3		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止												
Ⅳ 費用	加える変化（ACTION）	R8年度の費用（R7年度比）		(単位：千円)		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度				
		B		事業費		予算	決算	予算	決算	予算				
		A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止				0	0	0	0	0				
		理由		特定財源	合計額	0	0	0	0	0				
		予算的な措置が無くても、各課との連携は可能なため、現在のように、連携できる課題から取り組んでいく。			(内 国費)	0	0	0	0	0				
					(内 県費)	0	0	0	0	0				
					(内 諸収入)	0	0	0	0	0				
					(内 その他)	0	0	0	0	0				
		積算額		一般財源	0	0	0	0	0					
		予算なし		R7年度予算の内訳 <細々節名、 予算額、（R6年度予算額）>										
令和8年度予算の方向性（PLAN）		3年間の推移												

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）				対象年度		令和6年度							
事業番号	109	事業名	アートのまちフェスティバル事業		担当課		生涯学習課						
			(中事業名) アートのまちフェスティバル事業		予算区分（款-項-目-中事業）		9-4-5-6 アートのまちフェスティバル事業						
					決算書ページ		233		233 一般				
I 基本情報	総合計画	基本目標	5	いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪									
		政策	1	まちの資源を生かした市民同士の交流の促進									
		施策	(2)	文化芸術による交流									
	その他	開始年度	2012										
		終了予定年度	年度	☒	未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働可					
		根拠法令等	文化芸術基本法、劇場・音楽堂等の活性化に関する法律										
		関連計画	ながくて未来図（長久手市第6次総合計画）（H31. 3） 第3次長久手市文化芸術マスタープラン（H30. 3）										
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)					
		【対象】 ☒ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☐ その他 対象の数： 61000 【事業内容】 文化の家をはじめとする各施設、 ギャラリー等市内全域で行われ るアートの祭典を、市民アーテ ィスト・大学等とのパートナ ーシップで運営します。(R7は工事 休館中のため、実行委員会単独開 催)		【アクションプラン指標】 アートのまちフェスティバル 事業来場者数 【その他の指標】 市民参加の延べ人数 【主体的に事業を運営する市 民の人数】		市民に多様な芸術体験の機会 を提供する場が増加する。 (成果指標名) すべての事業での新聞等の掲 載回数		大 事 業 共 通 市民が芸術体験を通して、豊 かな心を育み、未来を生きる 楽しみと希望を見いだしてい く。また芸術活動を通じた市 民活動に参加することで、人 と人の絆を深め、誰もが孤立 しない社会が形成されてい く。					
II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度		
		1	【アクションプラン指標】 アートのまちフェスティバル事業来場者数	人	基準値 17,500 目標値 19,000	見込 実績	10,000 15,000	10,000	18,000	10,000	10,000		
		2	【その他の指標】 市民参加の延べ人数 【主体的に事業を運営する市民の人数】	人	基準値 - 目標値 -	見込 実績	10 3	10	10	10	10		
		3			基準値 目標値	目標値 実績							
		4			基準値 目標値	目標値 実績							
		事業開始 の背景		県芸がある長久手市だからこそできるアートフェスティバルを開催できないかと市民主体で2012～スタートした実行委員会による事業									
		各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由											
		R 6	実行委員会が単独でモリコロパークで開催している。来場者も多く、充実したアートイベントとなっていた。今後も実行委員会が単独でも開催できる力を維持していく必要がある。その他指標の、市民参加の延べ人数は、実行委員会の人数が激減したための数字である。委員がボランティアで行う事業のため、負担が大きくなったことや、実行委員同士の考え方の違いから、離れる人が増え、減員してしまった。	R 7									
	R 8		R 9										

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標								
		すべての事業での新聞等の掲載回数	回	R4 年度		R5 年度		【現状】 R6 年度		R7 年度		R8 年度
				52回		35回		38回		58回		60回
		成果達成状況				指標目標値の根拠						
		C	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている				事業の紹介記事が新聞等掲載されることは、広域への周知のみならず、事業の価値を客観的に市民に伝える根拠や裏付けとなるため。					
	評価の理由、分析											
	新聞記事の掲載は、コロナ禍で事業が減少した影響があり、一時期落ち込んだが、近年再び掲載数を増やしてきている。それでも掲載数に年度によっていくらかの幅があるため、地元新聞記者との関係性を構築し、定期的な事業の取材依頼を欠かさないことが必要となる。											
	加える変化（ACTION）	今後の方向性	今後の方向性の理由									
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		実行委員の数が減っているため現状では拡充することはできず、現状維持に注力するべき。							
		改善ポイント										
（成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）												
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容								見直し可能年度	
1	実行委員数を増やし、市民の力で事業を実施できるように支援を行う。	☐ 拡充 ☒ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止	市民で運営する実行委員会のため、意識は高いが広報な面では支援が必要なため、新聞やマスコミへのつながりを行うことでPRしていく。								R8	
2		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止										
3		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止										
Ⅳ 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）		3年間の推移	（単位：千円）	R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度		
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		事業費	予算	決算	予算	決算	予算		
						1,075	1,100	310	240	280		
		理由			特定財源	合計額						
		現在の実行委員の人数が減員しているため、現状維持に注力し、事業の維持をすることを最優先にしたい。				（内 国費）						
						（内 県費）						
						（内 諸収入）						
						（内 その他）						
		積算額			一般財源	1,075	1,100	310	240	280		
		未定			R7年度予算の内訳 <細々節名、 予算額、（R6年度予算額）> 事業・公演等委託 280（310）							

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度					
事業番号	110	事業名	芸術鑑賞事業 (中事業名) 芸術鑑賞事業		担当課		生涯学習課					
					予算区分（款-項-目-中事業）		9-4-5-1 芸術鑑賞事業					
					決算書ページ		232		～	232	一般	
I 基本情報	総合計画	基本目標	5	いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪								
		政策	1	まちの資源を生かした市民同士の交流の促進								
		施策	(2)	文化芸術による交流								
	その他	開始年度	開館時（1998年）									
		終了予定年度	年度	☒ 未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性			両者と協働可				
		根拠法令等	文化芸術基本法、劇場・音楽堂等の活性化に関する法律									
		関連計画	ながくて未来図（長久手市第6次総合計画）（H31. 3） 第3次長久手市文化芸術マスタープラン（H30. 3）									
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)				
		【対象】 ☒ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☐ その他 対象の数： 61000		【アクションプラン指標】 文化の家での学校鑑賞会の開催回数（R7工事休館のため、目標値調整）（R6, R8は一部工事休館のため目標値調整） 【その他の指標】 市民参加の延べ人数（来場者数）（R7工事休館のため、目標値調整）（R6, R8は一部工事休館のため目標値調整）		市民に多様な芸術体験の機会を提供する場が増加する。 (成果指標名) すべての事業での新聞等の掲載回数		市民が芸術体験を通して、豊かな心を育み、未来を生きる楽しみと希望を見いだしていく。また芸術活動を通じた市民活動に参加することで、人と人の絆を深め、誰もが孤立しない社会が形成されていく。				
		【事業内容】 質の高い舞台芸術が鑑賞・体験できる場や機会を、音楽、演劇、美術等多分野にわたり子どもから大人まで幅広く提供し、まちへの愛着や誇りを醸成します。（R7は工事休館中のため、文化の家での学校鑑賞会は実施しない）						大事業共通				
II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度	
		1	【アクションプラン指標】 文化の家での学校鑑賞会等開催回数 (R7工事休館のため、実施不可) (R6, R8は一部工事休館のため調整による)	回	基準値	1	目標値	1	0	1	1	1
					目標値	1	実績	0				
		2	【その他の指標】 市民参加の延べ人数（来場者数） (R7工事休館のため、目標値調整) (R6, R8は一部工事休館のため目標値調整)	人	基準値	-	目標値	10,000	3,000	10,000	25,000	25,000
					目標値	-	実績	7,918				
		3			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		4			基準値		目標値					
	目標値					実績						
	エピソード	事業開始の背景		文化の家は1998年の開館以来「人々が集い憩う、市民全体の「家」となっていきたい」「市民にとって芸術文化活動を展開し、地域の文化を発信する「わが家」を感じようような親しみ深い施設になってほしい」という願いのもとに開館当初から策定された文化芸術マスタープランに基づき事業を企画、展開させてきた。								
		各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由										
		R6	文化の家の事業の内容、クオリティは非常に高く、独自公演の多数制作で、アーティストとの協働も実現している。人員が少ない中で、有効な集客広報手段が必要。また市が抱える課題に対して、文化芸術を活用した事業を他課と連携して開催しアプローチを行ってきており、一定の評価を得ることができた。ただアクションプラン指標である学校鑑賞会の開催については予定していた海外アーティストの来日と学校の予定を合わせることができず断念した。	R7								
		R8		R9								

Ⅲ事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標								
		すべての事業での新聞等の掲載回数	回	R4 年度		R5 年度		【現状】 R6 年度		R7 年度		R8 年度
				52回		35回		38回		58回		60回
		成果達成状況				指標目標値の根拠						
		C	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている				事業の紹介記事が新聞等掲載されることは、広域への周知のみならず、事業の価値を客観的に市民に伝える根拠や裏付けとなるため。また新聞掲載をしてもらえる基準として新たな挑戦や試みであることが、記者が取り上げる大きな基準となっているため、本目標により定例的で形骸化した事業を防ぐことにつながる。また新聞を見て、文化の家を知る市民を増やすことにもつながり、アンケートでの「新聞を見て来た」来場者を調査できる。					
加える変化（ACTION）		今後の方向性		今後の方向性の理由								
		A	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止	文化芸術マスタープランに沿い、今後も文化や芸術によるまちづくりを推進し、シティプロモーションとして文化や芸術が根付き、芸術家が活躍する市として、PRできる事業展開をしていく。								
		改善ポイント										
		（成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）										
		見直しの余地のある取組名	見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容								見直し可能年度
1	【改善】 歳入の確保による事業費の一部充当	☐ 拡充 ☒ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止	クラウドファンディングの実施や、制作事業の他市町への売り込み、チケット収入による歳入の創出								R8	
2	【改善】 助成金の確保による事業費の一部充当	☐ 拡充 ☒ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止	文化庁補助金、財団法人地域創造や、瀬戸信用金庫助成金を今後も獲得していく。昨年と同様の企画であったり、類似の事業やパッケージ事業を申請しても採択を得られないため、多様なジャンルの毎年異なる挑戦的な公演を、企画、制作し実施することで、継続的に助成金を獲得していく。								R8	
3		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止										
Ⅳ費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）		(単位：千円)		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度		
		A	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止	事業費		予算	決算	予算	決算	予算		
		理由		合計額		28,367	24,700	30,449	27,287	11,322		
		R7は工事休館によりホール事業が実施不可のため、大幅な予算削減があった。R8以降はR6と比較して予算規模を2割削減する。 方向としては縮小となるが、前年度R7との比較という意味では、予算的には拡充と見えるため、拡充としておく。		特定財源	(内 国費)							
				(内 県費)								
(内 諸収入)	14,496			10,866	17,413	6,880	4,985					
(内 その他)	36				212							
積算額		一般財源		13,871	13,798	13,086	20,195	6,337				
事業内容未定のため未記載		R7年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R6年度予算額）＞ オンラインサービス使用料 198千円（66千円） チラシ折込手数料 260千円（225千円） ライセンス使用料 130千円（112千円） 市長賞受賞者報償金 150千円（150千円） 普通旅費 14千円（14千円） 会計年度任用職員旅費 7千円（7千円） 消耗品費 321千円（321千円） 食糧費 43千円（43千円） 筆耕翻訳料 100千円（100千円） 公演撮影委託 300千円（300千円） 原材料費 110千円（110千円） 事業用備品 0千円（0千円） 著作権使用料 96千円（200千円） 看板作成委託 115千円（268千円） 広告料 567千円（732千円） ピアノ調律手数料 110千円（346千円） 自動車借上料 0千円（522千円） 講座・講演等報償金 1,014千円（1,565千円） 印刷製本費 1,436千円（3,582千円） 事業・公演等委託 6,351千円（21,786千円）										

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度				
事業番号	111	事業名	アートスクール事業		担当課		生涯学習課				
			（中事業名）アートスクール事業		予算区分（款-項-目-中事業）		9-4-5-3 アートスクール事業				
					決算書ページ		233		233		一般
I 基本情報	総合計画	基本目標	5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪								
		政策	1 まちの資源を生かした市民同士の交流の促進								
		施策	(2) 文化芸術による交流								
	その他	開始年度	開館時								
		終了予定年度	年度	☒ 未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性				両者と協働可		
		根拠法令等	文化芸術基本法、劇場・音楽堂等の活性化に関する法律								
		関連計画	ながくて未来図（長久手市第6次総合計画）（H31. 3） 第3次長久手市文化芸術マスタープラン（H30. 3）								
	事業の概要・目的	①事業概要 （どんな取組を行うのか）		②活動指標 （取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか）		③中間成果 （①【対象】がどのような 状態に変わるのか）		④最終成果 （大事業の将来像）			
		【対象】 ☒ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☐ その他 対象の数： 61000人 【事業内容】 文化の家の多機能性を活かした様々な分野の講座やワークショップを開催し、市民がアートを体験し、交流するためのきっかけづくりを行います。（R7は工事休館中のため短期講座や講演会、ワークショップの参加者数を目標値とする）		【アクションプラン指標】 新規受講人数 【その他の指標】 市民参加の延べ人数【受講者数】 （R7工事休館のため、他会場にて短期実施の数値） （R6, R8は一部工事休館のため調整）		市民に多様な芸術体験の機会を提供する場が増加する。 （成果指標名） すべての事業での新聞等の掲載回数		市民が芸術体験を通して、豊かな心を育み、未来を生きる楽しみと希望を見いだしていく。また芸術活動を通じた市民活動に参加することで、人と人の絆を深め、誰もが孤立しない社会が形成されていく。		大事業共通	
II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度
		【アクションプラン指標】			基準値	100	目標値	100	100	100	100
		1	新規受講人数 （R7工事休館のため、他会場にて短期実施の数値） （R6, R8は一部工事休館のため調整）	人	目標値	100	実績	78			
		【その他の指標】			基準値	-	目標値	100	30	30	100
		2	市民参加の延べ人数【受講者数】 （R7工事休館のため、他会場にて短期実施の数値） （R6, R8は一部工事休館のため調整）	人	目標値	-	実績	78			
					基準値		目標値				
		3			目標値	実績					
					基準値		目標値				
		4			目標値	実績					
					基準値		目標値				
					目標値	実績					
					基準値		目標値				
					目標値	実績					
		エピソード	事業開始の背景	文化の家は1998年の開館以来「人々が集い憩う、市民全体の「家」となってほしい」「市民にとって芸術文化活動を展開し、地域の文化を発信する「わが家」を感じるような親しみ深い施設になってほしい」という願いのもとに開館当初から策定された文化芸術マスタープランに基づき事業を企画、展開させてきた。							
各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由											
R6	市民が参加したいと思える気軽なアート講座を実施した。気軽さを重視するも、他ではやっていないような、フィドルやハーブなどの講座を展開し、民間との差別化を図った。ハーブは購入にかかる初期費用が必要だったせいか参加人数が伸びなかった反省がある。他の講座には、未就学時期の子どもに特化したアート体験を中心とした講座にも挑戦し、人気を得た。トータルの講座の数を削減したため、受講者数は減少した。		R7								
R8		R9									

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標								
		すべての事業での新聞等の掲載回数	回	R4 年度		R5 年度		【現状】 R6 年度		R7 年度		R8 年度
				52回		35回		38回		58回		60回
		成果達成状況				指標目標値の根拠						
加える変化（ACTION）	C	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている				事業の紹介記事が新聞等掲載されることは、広域への周知のみならず、事業の価値を客観的に市民に伝える根拠や裏付けとなるため。また来場者アンケートにおいて「新聞で見た」という来場者を把握し、市民の参加のきっかけとなっているかの調査もできる。						
		評価の理由、分析										
		アートスクールとしての新聞掲載回数は少ない結果となった。アートスクールはトピックが作りにくい事業ではあるが、もう少し、講師の活動とのリンクを考えて、参加者が事業に参加する機会を創出することが考えられる。実際フィドル教室の参加者は、アイリッシュデュイズなどの文化の家事業に参加連携する機会があり、話題性が高かった。他事業も追随したい。										
	A	今後の方向性		今後の方向性の理由								
		A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		文化芸術マスタープランに沿い、今後も文化や芸術によるまちづくりを推進し、シティプロモーションとして文化や芸術が根付き、芸術家が活躍する市として、PRできる事業展開をしていく。								
		改善ポイント										
		（成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）										
	1	【改善】 アートスクール講座	見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容							見直し 可能年度	
				形骸化を防ぐため、3年に1度、講座内容を変更していく。								
	2		見直しの方向性									
	3		見直しの方向性									
Ⅳ 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）		3年間の推移	（単位：千円）		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度	
		A	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		事業費	予算	決算	予算	決算	予算		
						2,647	2,574	2,637	2,270	671		
		理由			特定財源	合計額	2,375	1,436	2,637	1,253	637	
		R7は工事休館によりホール事業が実施不可のため、大幅な予算削減があった。R8以降はR6と比較して予算規模を2割削減する。方向としては縮小となるが、前年度R7との比較という意味では、予算的には拡充と見えるため、拡充としておく。				(内 国費)						
						(内 県費)						
						(内 諸収入)	2,375	1,436	2,637	1,253	637	
					(内 その他)							
		積算額			一般財源		272	1,138	0	1,017	34	
		事業内容未定のため未記載			R7年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R6年度予算額）＞ 消耗品費 11千円（22千円） 事業・公演等委託 0千円（500千円） 講座・講演等報償金 660千円（2,115千円）							

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度					
事業番号	112	事業名	創造スタッフ創造活動事業		担当課		生涯学習課					
			(中事業名) 創造スタッフ創造活動事業		予算区分（款-項-目-中事業）		9-4-5-7 創造スタッフ創造活動事業					
					決算書ページ		233 ~ 233 一般					
I 基本情報	総合計画	基本目標	5	いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪								
		政策	1	まちの資源を生かした市民同士の交流の促進								
		施策	(2)	文化芸術による交流								
	その他	開始年度	開館時1998									
		終了予定年度	年度	☒	未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働可				
		根拠法令等	文化芸術基本法、劇場・音楽堂等の活性化に関する法律									
		関連計画	ながくて未来図（長久手市第6次総合計画）（H31. 3） 第3次長久手市文化芸術マスタープラン（H30. 3）									
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)				
		【対象】 ☒ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☐ その他 対象の数： 61000		【アクションプラン指標】 社会貢献につながる取組を行うアーティストの人数 【その他の指標】 文化芸術マスタープランに沿った多様な事業（公演鑑賞事業や、講座、アウトリーチ等）の開催。		市民に多様な芸術体験の機会を提供する場が増加する。 (成果指標名) すべての事業での新聞等の掲載回数		大事業共通 市民が芸術体験を通して、豊かな心を育み、未来を生きる楽しみと希望を見いだしていく。また芸術活動を通じた市民活動に参加することで、人と人の絆を深め、誰もが孤立しない社会が形成されていく。				
		【事業内容】 創造スタッフとして、若手アーティストが文化の家事業の企画や制作に関わることで、キャリア形成を支援します。また、創造スタッフが高齢者施設の活動等において社会貢献につながる芸術活動ができるよう支援する										
II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度	
		1	【アクションプラン指標】 社会貢献につながる取組を行うアーティストの人数	人	基準値	6	見込	6	6	6	6	
					目標値	6	実績	6				
		2	【その他指標】 市民参加人数【創造スタッフ劇場の人場者数】 (R7工事休館のため、実施不可) (R6、R9は一都工事休館のため実施を調整)	人	基準値	300	見込	500	0	500	500	
					目標値	500	実績	480				
		3			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		4			基準値		目標値					
	目標値					実績						
	エピソード	事業開始の背景		文化の家は1998年の開館以来「人々が集い憩う、市民全体の「家」となってほしい」「市民にとって芸術文化活動を展開し、地域の文化を発信する「わが家」を感じるような親しみ深い施設になってほしい」という願いのもとに開館当初から策定された文化芸術マスタープランに基づき事業を企画、展開してきた。								
		各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由										
		R 6	創造スタッフは長久手市に密着し継続した活動ができる全国でも珍しい契約アーティスト制度である。このことで、創造スタッフの公演を見に来た子どもたちや、大人でも、おなじみのアーティストとして交流が生まれ、身近に多様な生き方のアーティストの存在を感じることができている。創造スタッフを見て、音楽をはじめたという市内在住の子どものエピソードなども多数ヒアリングできた。		R 7							
						R 8			R 9			

III 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）		単位	成果指標の推移と目標									
		すべての事業での新聞等の掲載回数		回	R4 年度		R5 年度		【現状】 R6 年度		R7 年度		R8 年度	
					52回		35回		38回		58回		60回	
		成果達成状況					指標目標値の根拠							
		C		A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている					事業の紹介記事が新聞等掲載されることは、広域への周知のみならず、事業の価値を客観的に市民に伝える根拠や裏付けとなるため。					
		評価の理由、分析												
		新聞記事の掲載は、コロナ禍で事業が減少した影響があり、一時期落ち込んだが、近年再び掲載数を増やしてきている。それでも掲載数に年度によっていくらかの幅があるため、地元新聞記者との関係性を構築し、定期的な事業の取材依頼を欠かさないことが必要となる。												
		今後の方向性		今後の方向性の理由										
		B		A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止 創造スタッフの創造性は卓越しており、意欲も高いが、現在の人員で創造スタッフのアイデア事業すべてに対応できるだけの人員が配置されていないため、拡充がしにくく、現在の事業を維持することに注力する。										
		改善ポイント (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)												
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容									見直し可能年度		
1	新聞やマスコミなどにPRを行い、先進性の高い創造スタッフ事業を市としてPRする	☐ 拡充 ☒ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止	全国でも珍しいアーティストとの協働事業を展開している点を市の魅力としてPRし、住みよい町としてイメージを拡大して、シビックプライドの醸成を図る。									R7		
2		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止												
3		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止												
IV 費用	加える変化（ACTION）	R8年度の費用（R7年度比）		(単位：千円)		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度				
		B		事業費		予算	決算	予算	決算	予算				
		A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止				3,300	3,300	3,300	3,300	3,600				
		理由		特定財源	合計額									
		現在の事業数を維持しながら、市民により身近な存在として、事業を企画していく。職員数とのバランスを考えながら実施可能な事業を模索していく。			(内 国費)									
					(内 県費)									
					(内 諸収入)									
					(内 その他)									
		積算額		一般財源	3,300	3,300	3,300	3,300	3,600					
		R7同額		R7年度予算の内訳 <細々節名、 予算額、（R6年度予算額）> 創造スタッフ創造活動事業委託 3,600千円（3,600千円）										
		3年間の推移												

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度				
事業番号	113	事業名	市民企画支援事業		担当課		生涯学習課				
			(中事業名) 市民企画支援事業		予算区分（款-項-目-中事業）		9-4-5-5 市民企画支援事業				
					決算書ページ		233 ~ 233 一般				
I 基本情報	総合計画	基本目標	5	いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪							
		政策	1	まちの資源を生かした市民同士の交流の促進							
		施策	(2)	文化芸術による交流							
	その他	開始年度	2012								
		終了予定年度	年度	☒	未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		市民とのみ協働可			
		根拠法令等	文化芸術基本法、劇場・音楽堂等の活性化に関する法律								
	関連計画	ながくて未来図（長久手市第6次総合計画）（H31. 3） 第3次長久手市文化芸術マスタープラン（H30. 3）									
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		アウトプット（詳細はⅡへ）		アウトカム（詳細はⅢへ）					
		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)				③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)				④最終成果 (大事業の将来像)	
		【対象】 ☒ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☐ その他 対象の数： 61000 【事業内容】 市民が自ら企画提案した事業について、公益性が高い内容の事業を支援します。		【アクションプラン指標】 事業数【単年】 【その他の指標】 来場者数		定期的に映画鑑賞会のために文化の家を訪れ、他者と交流する機会が創出される。 (成果指標名) 主催する市民会員人数				定期的な映画会の実施を通して文化芸術による交流が生まれ、地域での顔見知りが増え、来場者の間でもこれまで関わりのなかった人ともコミュニケーションが生まれる。	
				大 事 業 共 通							
II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度	
	1	【アクションプラン指標】 事業数【単年】 (R7工事休館のため、他会場にて実施) (R6, R8は一部工事休館のため調整)	事業	基準値	12	目標値	14	14	14	14	14
				目標値	14	実績	14				
	2	【その他指標】 来場者数	人	基準値	-	目標値	768	768	768	768	768
				目標値	-	実績	922				
	3			基準値		目標値					
				目標値		実績					
	4			基準値		目標値					
目標値					実績						
事業開始の背景		文化の家は1998年の開館以来「人々が集い憩う、市民全体の「家」となってほしい」「市民にとって芸術文化活動を展開し、地域の文化を発信する「わが家」を感じるような親しみ深い施設になってほしい」という願いのもとに開館当初から策定された文化芸術マスタープランに基づき展開させてきた。市民が主体となり運営する事業もプランで目指しており、シネマ倶楽部などが該当している。									
		各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由									
エピソード	R 6	文化の家が1月～大規模改修工事に入ったため、シネマ倶楽部は、光のホールという活動の場所を一時的に失うこととなったが、文化の家側から交渉、調整を行い、休館中は図書館のAVルームにてこれまで通り、映画会を開催し続けることができた。これにより映画会での交流を維持することができている。	R 7								
	R 8		R 9								

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）		単位	成果指標の推移と目標							
		主催する市民会員人数		人	年度	年度	【現状】		6 年度	7 年度	8 年度	
					指標変更	指標変更		8	8	8		
		成果達成状況					指標目標値の根拠					
		B		A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている			会員数を維持し、可能であれば新しい会員を加入させ、市民組織が継続していけるようにしていくことで、事業そのものが継続されていく。					
		評価の理由、分析										
		現在の会員数を維持できるようにサポートが必要。来場者の中から運営側に携わってみたいと思う市民が増えることは、関係性を育み、交流を生むということのゴールとも言える。										
		今後の方向性		今後の方向性の理由								
		B		A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止			現状のシネマ倶楽部の活動も十分評価できるものであるが、今後は、現体制を維持することが課題のため。					
		改善ポイント (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)										
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容							見直し可能年度		
1	自主的な運営のできる市民団体の育成による生きがい、やりがいを感じることのできる場を創出する。	☐ 拡充 ☒ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止	シネマ関係事業を市民団体シネマ倶楽部におまかせすることで、運営する市民の側も自主的な活動の中でのやりがい、生きがい、他者との関わりを生んでいくことができる。							R7		
2		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止										
3		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止										
Ⅳ 費用	加える変化（ACTION）	R8年度の費用（R7年度比）		(単位：千円)		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度		
		B		事業費		予算	決算	予算	決算	予算		
						445	376	482	392	423		
		理由		特定財源	合計額							
		自主的な運営をすることができ市民団体が育成されてきており、彼らの活動を推進するために現状を維持していく。また運営的な部分は市民団体にまかせることで生きがいややりがいを感じることができるように維持する。			(内 国費)							
					(内 県費)							
					(内 諸収入)							
					(内 その他)							
		積算額		一般財源	445	376	482	392	423			
		未定		R7年度予算の内訳 <細々節名、 予算額、（R6年度予算額）> 著作権使用料 0千円（10千円） 消耗品費 0千円（50千円） 印刷製本費 0千円（82千円） 映画鑑賞会フィルム借上料 0千円（340千円）								
令和8年度予算の方向性（PLAN）		3年間の推移										

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度					
事業番号	114	事業名	リリモテラスにぎわい創出事業 (中事業名) リリモテラス公益施設管理事業		担当課		観光商工課					
					予算区分（款-項-目-中事業）		2-1-9-8 リリモテラス公益施設管理事業					
					決算書ページ		70		～ 一般			
I 基本情報	総合計画	基本目標	5	いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪								
		政策	2	観光交流まちづくりの推進								
		施策	(1)	観光交流スタイルの確立								
	その他	開始年度	令和3年度									
		終了予定年度	年度	☒	未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性			両者と協働可			
		根拠法令等	リリモテラス公益施設条例									
		関連計画	-									
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)				
		【対象】 ☒ 市民 ☒ 事業者 ☒ 職員 ☐ その他 対象の数： 約60,000人		【アクションプラン指標】 交流プログラム参加者数 【その他の指標】		・市民活動のフィールドがある ことが広く認知され、市民 活動の担い手が増える。 (成果指標名) リリモテラス公益施設を活用 する市民の人数		大 事 業 共 通 ・市民が活躍できる主要な場 として、市全体が活性化す る。				
		【事業内容】 「リリモテラス公益施設」をはじ めリリモテラス古戦場駅北側のリ リモテラスにおいて、市民の新た なつながりをつくるために、市民 が主体となつてにぎわいを創出す る事業を行います。										
II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度	
		1	【アクションプラン指標】 交流プログラム参加者数	人	基準値 6,840 目標値 9,900	目標値 8,300 実績 10,667	8,700	9,100	9,500	9,900		
		2			基準値 目標値	目標値 実績						
		3			基準値 目標値	目標値 実績						
		4			基準値 目標値	目標値 実績						
		事業開始の背景		第5次長久手市総合計画で掲げる将来像「人が輝き 緑があふれる 交流都市 長久手」の実現に向けて、主要プロジェクト「リリモテラス構想」を掲げ、本市の新たな顔としてふさわしい場作りを目指している。施設の利活用者と共に、施設の活性化等を考えながら本事業を進めている。								
		各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由										
		R 6	リリモテラス公益施設及び長久手中央2号公園を一体的に指定管理することとし、リリモテラスを活用するプレイヤーが活用しやすくなる仕組み作りを導入した。そして、指定管理者が業務主旨をよく理解し、来訪者への声かけや活動プレイヤーのサポート（コーディネートなど）を充実させることによって、施設利用者からも雰囲気が変わり、施設の使いやすさに繋がっているとの声もいただいた。	R 7								
		R 8		R 9								

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）		単位	成果指標の推移と目標								
		リリモテラス公益施設を活用する市民の人数		人	R4 年度		R5 年度		【現状】 R6 年度		R7 年度		R8 年度
					1,448		1,839		1,909		2,139		2,369
		成果達成状況					指標目標値の根拠						
		A		A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている					将来、市全体が活性化し、市民が活躍できる主要な場として機能することを目指し、将来像の実現に向けた中間目標として、これまでの利活用者数の推移を踏まえ、令和8年度には利用者数を2,369人とする目標を設定し、目標値の達成に向けた増加数を各年度に設定する。				
		評価の理由、分析											
		リリモテラス公益施設及び長久手中央2号公園を一体的な指定管理にしたことによって、プレイヤーの利活用の幅が広がった。また、新しく選定された指定管理者が業務内容をよく理解し、プレイヤーの利活用促進に向けたサポート（施設利活用方法、広報協力など）を充実させたことによって、施設の利活用者が増加した。											
		今後の方向性		今後の方向性の理由									
		B		A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止 令和6年度より、リリモテラス公益施設及び長久手中央2号公園を新たな指定管理者により一体的に管理運営を行っている。施設の利活用を定着させていくためにも、今後の5カ年については現状規模の事業実施とする。									
		改善ポイント （成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）											
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容								見直し可能年度		
1	活動プレイヤーの発掘や繋がりづくりの強化	☐ 拡充 ☒ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止	市外からの活動プレイヤーが多い現状を踏まえ、市在住の活動プレイヤーに向けたリリモテラスの認知度を拡大していくために、市内の他のまちづくり施設に訪問して意見交換を行い、ネットワークを強化し、新たな活動プレイヤーを発掘する。能動的な活動プレイヤーを取り込むために毎月1回「リリモテラスの日」を設けてプレイヤー間の繋がりがりづくりの強化や活動発信をサポートする。								R7		
2		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止											
3		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止											
Ⅳ 費用	加える変化（ACTION）	R8年度の費用（R7年度比）		（単位：千円）		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度			
		B		A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		事業費		予算		決算			
		理由				合計額		0		0			
		令和6年度より、リリモテラス公益施設及び長久手中央2号公園を新たな指定管理者により一体的に管理運営を行って（令和6年度～令和10年度までの5カ年間）いるため、令和8年度についても事業規模を令和7年度と同水準とする。		特定財源		(内 国費)		0		0			
				(内 県費)		0		0					
				(内 諸収入)		0		0					
				(内 その他)		0		0					
				一般財源		31,587		30,403		43,006		42,570	
		積算額		令和7年度と同水準		R7年度予算の内訳 ＜細々節名、予算額、（R6年度予算額）＞							
		令和8年度予算の方向性（PLAN）		3年間の推移		【リリモテラス公益施設】 修繕料 500千円（300千円） 火災保険料 60千円（59千円） 普通旅費 10千円（10千円） 消耗品費 10千円（10千円） リリモテラス指定管理料 39,000千円（39,000千円） 光熱水費 1,954千円（2,119千円） 【長久手中央2号公園】 消耗品費 34千円（34千円） 修繕料 300千円（300千円） 防犯カメラ使用料 466千円（466千円） 光熱水費 653千円（708千円）							

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）										対象年度		令和6年度	
事業番号	115	事業名	観光PR事業					担当課		観光商工課			
			(中事業名) 観光交流推進事業					予算区分（款-項-目-中事業）		6-1-2-2 観光交流推進事業			
								決算書ページ		171 ~ 172 一般			
I 基本情報	総合計画	基本目標	5	いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪			5	いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪					
		政策	2	観光交流まちづくりの推進			2	観光交流まちづくりの推進					
		施策	(1)	観光交流スタイルの確立			(2)	魅力が広がる情報発信					
	その他	開始年度	平成17年度										
		終了予定年度	年度			☒	未定		市民・民間事業者との連携協働の可能性			両者と協働可	
		根拠法令等	-										
		関連計画	第2次長久手市観光交流基本計画										
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		アウトプット（詳細はⅡへ）				アウトカム（詳細はⅢへ）					
				②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)				③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)			④最終成果 (大事業の将来像)		
		【対象】 ☒ 市民 ☒ 事業者 ☒ 職員 ☐ その他 対象の数： 約60,000人		【アクションプラン指標】 観光交流協会HP閲覧数（回） 【その他の指標】				・本市の観光情報を発信すること で市内へ来訪しようとする 観光客の選択肢となる (成果指標名) 市内観光客数			大 事 業 共 通 ・観光客による消費が促進され、 市内事業者の売上げが増加し、 持続的な観光事業の仕組み 作りができる。		
【事業内容】 SNSをはじめとする様々な 情報媒体を活用し、関係各課 と連携しながら長久手市観光 交流協会を主体とした事業を 行い、観光交流情報を効果的 かつ積極的に発信する。													
II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ		区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度	
		1	【アクションプラン指標】 観光交流協会HP閲覧数	回	基準値	70,955	目標値	65,200	81,000	86,000	91,000	96,000	
					目標値	96,000	実績	93,030					
		2			基準値		目標値						
					目標値		実績						
		3			基準値		目標値						
					目標値		実績						
		4			基準値		目標値						
	目標値					実績							
	エピソード	事業開始の背景	愛知万博を契機に長久手市観光交流基本計画を策定し、本市の観光PRのために事業を開始した。その後、第2次観光交流基本計画において、長久手市（長久手町）観光交流推進会議から発展した長久手市観光交流協会（平成28年1月発足）が、平成31年4月に一般社団法人化し、現在も同協会を核に観光情報発信等の事業を行っている。										
		各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由											
		R6	令和6年度は、ジブリパーク開園による観光客の増加を踏まえて、市民や市内外の観光客へ長久手市の魅力を発信するための長久手観光交流楓まつりの実施や、同日にジブリパーク社と連携した周年記念イベントの実施、中部国際空港ターミナルでの火縄銃発砲シーンのタバストーリー掲載、Instagramによるコンスタントな観光情報発信など、様々な観光PR事業を展開した。				R7						
		R8					R9						

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標							
		市内観光客数	千人	R4 年度	R5 年度	【現状】 R6 年度	R7 年度	R8 年度			
				2,798	3,727	4,006	4,951	5,457			
		成果達成状況			指標目標値の根拠						
		D	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている			R5年度実績が3,727千人と大幅に増加したため、R3～R5年度の増加率140%からピークダウンを考慮した係数0.25をかけた前年比110%ずつの増加を毎年度観光客数から見込みながらアクションプラン指標との整合を図って設定した。					
	評価の理由、分析										
	モリコロパークへの流入は増加しているものの、市内観光施設への流入は横ばいとなっているため目標値を下回っている。モリコロパーク以外の観光施設への流入を促す観光情報の発信を強化する。										
	加える変化（ACTION）	今後の方向性		今後の方向性の理由							
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止	令和7年度は、観光戦略を策定し、事業者・行政・協会の役割分担を明確化した事業展開をしていく予定である。効率的かつ効果的な観光PRのために、同戦略で定めるターゲット（長久手市観光客のマーケット感）を踏まえた観光情報発信を関係者間で連携して展開する。							
		改善ポイント （成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）									
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容					見直し可能年度			
1		観光PR委託事業	☐ 拡充 ☒ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止	観光交流協会へは、現在、地域ブランディングやプロモーション発信の内容で事業委託をしているが、令和7年度に改定する長久手市観光戦略策定によって、同協会の役割を明確化することから、戦略の推進として必要となる委託事業内容を検討する。					R7		
2		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止									
3		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止									
Ⅳ 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）		3年間の推移	（単位：千円）		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		事業費	予算	決算	予算	決算	予算	
						4,665	4,626	5,647	5,635	5,669	
		理由			特定財源	合計額	2,245	2,245	1,500	1,496	1,950
		今後、縮減傾向にある財源確保などへの解決策として、現状はジブリパークから素通りしている観光客が市内を周遊し、消費へ結びつけるための観光資源を開発・発掘することが必要と考えるため。				（内 国費）	2,245	2,245	1,500	1,496	1,950
						（内 県費）	0	0	0	0	0
						（内 諸収入）	0	0	0	0	0
						（内 その他）	0	0	0	0	0
		積算額			一般財源	2,420	2,420	4,147	4,139	3,719	
		未定			R7年度予算の内訳 ＜細々節名、予算額、（R6年度予算額）＞ 観光交流PR業務委託 1,500千円（2,500千円） 観光交流基本計画改訂委託 3,949千円（2,992千円） 普通旅費 20千円（11千円） 特別旅費 40千円（0千円） 消耗品費 25千円（8千円） 道路通行料 10千円（11千円） 観光事業負担金 70千円（70千円） 観光動態調査システム負担金 55千円（55千円）						

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度					
事業番号	116	事業名	観光交流協会支援事業		担当課		観光商工課					
			(中事業名) 観光交流協会支援事業		予算区分（款-項-目-中事業）		6-1-2-2 観光交流協会支援事業					
					決算書ページ		172		～ 一般			
I 基本情報	総合計画	基本目標	5	いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪								
		政策	2	観光交流まちづくりの推進								
		施策	(1)	観光交流スタイルの確立								
	その他	開始年度	—									
		終了予定年度	年度	☒	未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性			両者と協働可			
		根拠法令等	—									
		関連計画	第2次長久手市観光交流基本計画									
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)				
		【対象】 ☒ 市民 ☒ 事業者 ☒ 職員 ☐ その他 対象の数： 約60,000人		【アクションプラン指標】 市内観光客数 【その他の指標】		・本市の観光情報を発信すること で市内へ来訪しようとする 観光客の選択肢となる。 (成果指標名) 観光交流協会HP閲覧件数		大 事 業 共 通 ・観光客による消費が促進され、 市内事業者の売上げが増加し、 持続的な観光事業の仕組み 作りができる。				
		【事業内容】 長久手市観光交流協会が行 う、観光PRやイベント実 施、交流の場の創出、新たな 地域資源の発掘等、長久手市 ならではの魅力的な観光交流 まちづくりの実現のために必 要な支援を行います。										
II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度	
		1	【アクションプラン指標】 市内観光客数	千人	基準値 3,727 目標値 6,003	目標値 2,898 実績 4,006	4,510	4,961	5,457	6,003		
		2			基準値 目標値	目標値 実績						
		3			基準値 目標値	目標値 実績						
		4			基準値 目標値	目標値 実績						
		事業開始の背景 愛知万博を契機に長久手市観光交流基本計画を策定し、本市の観光PRのために事業を開始した。その後、第2次観光交流基本計画において、長久手市（長久手町）観光交流推進会議から発展した長久手市観光交流協会（平成28年1月発足）が、平成31年4月に一般社団法人化し、現在も同協会を核に観光情報発信等の事業を行っている。										
		各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由										
		R6	令和6年度は、InstagramのSNSアカウントを刷新して継続的に会員事業者の紹介を始めとする市の観光情報を発信した。また、市の観光交流事業推進のために、会員事業者間のネットワークを強化するための会員交流会などを開催。結果として、同協会の自立にも繋がる会員数の増加を図るなど精力的な活動を展開した。	R7								
		R8		R9								

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標								
		観光交流協会HP閲覧件数	回	R4 年度 60,200	R5 年度 70,955	【現状】 R6 年度 93,030	R7 年度 109,030	R8 年度 125,030				
		成果達成状況			指標目標値の根拠							
		B A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている			観光情報の充実度を押し量る指標として、HP閲覧数を設定。アクションプラン指標の変更も見据えた目標値を設定する。 (R4～R6の増加数を平均し、PV数16,000増加)							
		評価の理由、分析										
		コンスタントな観光情報の発信を行っていることと、ジブリパーク開園を契機に長久手市の観光情報に対する需要は高まっていると考えられるため。										
		加える変化（ACTION）	今後の方向性	今後の方向性の理由		今後の方向性の理由						
				B A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		長久手市観光戦略基礎調査の結果より、ジブリパークの開園によって、観光客の流入増が確認されている。来訪した観光客の消費を地元事業者へ結びつけることによって観光の産業化をしていくために地元事業者との連携（事業者間の連携、交流会などの啓発）や観光客への情報発信を強化していく。						
				改善ポイント								
				（成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）								
見直しの余地のある取組名	見直しの方向性			理由及び具体的な見直しの内容			見直し可能年度					
1 観光交流協会補助事業	☐ 拡充 ☒ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止			現在は観光交流協会が本市における事業推進主体であるが、その役割が観光事業全般と多岐に渡るため、令和7年度に行う長久手市観光戦略策定の中で、事業者・同協会・行政の役割を明確化して、各々が推進すべき事業に注力できる環境を整備していく。			R7					
2	☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止											
3	☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止											
Ⅳ 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）			R8年度の費用（R7年度比）		（単位：千円）		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度
				B A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		事業費		予算	決算	予算	決算	予算
		理由		特定財源	合計額	3,755	3,755	1,500	1,500	1,500		
		今後、縮減傾向にある財源確保などへの解決策として、現状はジブリパークから素通りしている観光客が市内を周遊し、消費へ結びつけるための観光資源を開発・発掘することが必要と考えるため。			（内 国費）	3,755	3,755	1,500	1,500	1,500		
					（内 県費）	0	0	0	0	0		
					（内 諸収入）	0	0	0	0	0		
					（内 その他）	0	0	0	0	0		
		積算額		一般財源	16,425	16,425	20,000	17,162	18,500			
		未定		R7年度予算の内訳 ＜細々節名、予算額、（R6年度予算額）＞ 観光交流協会補助金 19,000千円（21,500千円）								
				3年間の推移								

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度					
事業番号	117	事業名	地域間交流事業		担当課		観光商工課					
			(中事業名) 地域間交流事業		予算区分（款-項-目-中事業）		2-1-9-5 地域間交流事業					
					決算書ページ		70		～ 一般			
I 基本情報	総合計画	基本目標	5	いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪								
		政策	2	観光交流まちづくりの推進								
		施策	(1)	観光交流スタイルの確立								
	その他	開始年度	—									
		終了予定年度	年度	☒	未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働可				
		根拠法令等										
		関連計画	第2次長久手市観光交流基本計画									
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)				
		【対象】 ☒ 市民 ☒ 事業者 ☒ 職員 ☐ その他 対象の数： 約60,000人 【事業内容】 他自治体と地域間を超えた連携を行い、特に長野県南木曽町、兵庫県宝塚市との観光・歴史・文化的資源を生かした市民間及び自治体間の交流を推進します。		【アクションプラン指標】 自治体間相互訪問及び交流件数【累計】 【その他の指標】 交流事業に関与した庁内部局数		・相互自治体間の連携回数が増加する ⇒相互の都市の魅力に触れる 機会の創出 (成果指標名) 交流事業件数 長久手市と交流都市が連携して行う事業		大 事 業 共 通 市民が長久手市では体験できない交流都市ならではのサービスを受けることができる。				
II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度	
		1	【アクションプラン指標】 自治体間相互訪問及び交流件数	件	基準値	5	目標値	6	6	7	7	8
			目標値	8	実績	5						
		2	【その他の指標】 交流事業に関与した庁内部局数	係	基準値	—	目標値	—	4	5	5	6
			目標値	—	実績	4						
		3			基準値		目標値					
			目標値		実績							
		4			基準値		目標値					
	目標値			実績								
	エピソード	事業開始の背景	南木曽町は木曽川の水源地が縁で平成18年に交流宣言書の調印を行い、宝塚市は介助犬訓練施設「シンシアの丘」が縁で平成24年に覚書「きずなづくりの誓い」を締結し、交流を開始した。									
		各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由										
		R 6	令和6年度は、前年度と同様に（一社）長久手市観光交流協会が主催する長久手楓まつりへ出店してもらい、南木曽町の特産品（木工、五平餅等）のワークショップや販売等を通じて同町をPRすることができた。また、南木曽町で開催された「文化文政風俗絵巻之行列」へ本市職員や観光交流協会職員が参加した。当初は、南木曽町職員との交流事業の実施を想定していたが、実施に至らなかったため、令和7年度の担当者打合せで、今後の交流事業について相互に意向を確認しながら実施方針を整理していく。				R 7					
		R 8					R 9					

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標						
		交流事業件数 長久手市と交流都市が連携して行う事業	件	H30 年度 3	R4 年度 5	【現状】 R6 年度 5	R8 年度 7	R10 年度 8		
		成果達成状況		指標目標値の根拠						
		B A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている		交流都市と本市との交流の実態を把握するため、行事への参加など、自治体間で行った相互訪問や交流事業及び情報交換した件数を指標とする。						
	評価の理由、分析									
	南木曽町との交流事業は継続的に実施されている。 観光交流イベントへの出店（楓まつり）、文化文政風俗絵巻之行列への参加、土産祝い品（木のおもちゃ）、魚釣り体験等									
	加える変化（ACTION）	今後の方向性	今後の方向性の理由							
		B A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止	日本らしさを感じることができることから、南木曽町との交流事業は今後も継続して行っていく。 令和7年度は、ワータロー市からの姉妹都市訪問団が南木曽町を訪問する予定である。							
		改善ポイント (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)								
		見直しの余地のある取組名	見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容				見直し可能年度		
1 宝塚市との連携		☐ 拡充 ☒ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止	宝塚市との連携事業は、近年はほとんど実施されていない状況である。南木曽町との連携事業は継続的に実施されているため、宝塚市に関する事業予算を縮小していく。							
2		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止								
Ⅳ 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）	3年間の推移	(単位：千円)	R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度	
		B A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		事業費	予算	決算	予算	決算	予算	
					49	15	49	16	28	
					合計額	0	0	0	0	0
					(内 国費)	0	0	0	0	0
					(内 県費)	0	0	0	0	0
					(内 諸収入)	0	0	0	0	0
		(内 その他)		0	0	0	0	0		
		一般財源		49	15	49	16	28		
		理由		特定財源	R7年度予算の内訳 <細々節名、 予算額、（R6年度予算額）> 食糧費 8千円（8千円） 普通旅費 10千円（18千円） 道路通行料 10千円（23千円）					
南木曽町との交流事業（観光交流イベントへの出店、文化文政風俗絵巻之行列への参加等）を継続することで関係性を保ち続ける。										
積算額										
令和7年度と同水準										

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度					
事業番号	118	事業名	公共交通ネットワーク構築事業 (中事業名) 公共交通ネットワーク構築事業		担当課		企画政策課					
					予算区分（款-項-目-中事業）		2-1-5-2 公共交通ネットワーク構築事業					
					決算書ページ		56 ～ 57 一般					
I 基本情報	総合計画	基本目標	6	あえて歩いてみたくなるまち								
		政策	1	外出しやすい環境の整備								
		施策	(1)	公共交通の利便性の向上								
	その他	開始年度	平成19（2007）年度									
		終了予定年度	年度	☒	未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働可				
		根拠法令等	道路運送法、公共交通の活性化及び再生に関する法律									
		関連計画	長久手市地域公共交通計画									
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)				
		【対象】 ☒ 市民 ☒ 事業者 ☐ 職員 ☒ その他 対象の数： 61,000人 【事業内容】 長久手市地域公共交通会議を開催し、交通事業者、行政、市民が連携しながら、地域公共交通の確保・維持及び活性化を図り、地域にふさわしい公共交通を構築します。		【アクションプラン指標】 市内各公共交通の利用者数【単年】 【その他の指標】 ・運営に携わる市民の人数 ・利用促進に関する市の取組の拡大		外出時に公共交通の利用を検討する市民が増加する (成果指標名) 徒歩や自転車で行けない離れた所に外出する際に「公共交通で行けるかどうかを考えない」人の割合の減少		大事業共通 過度に自動車に頼る状態から、多様な交通手段を利用する暮らしへの転換を促すため、公共交通の利用を促進し、また、持続可能な交通体系を構築する。				
II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ		区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度
		1	【アクションプラン指標】 市内各公共交通の利用者数【単年】	人	基準値	5,196,000	目標値	5,021,000	5,105,000	5,187,000	5,239,000	5,317,000
					目標値	5,317,000	実績	5,478,000				
		2	【その他指標】 運営に携わる市民の人数	人	基準値	-	目標値	10	10	10	10	10
					目標値	-	実績	11				
		3	【その他指標】 利用促進に関する市の取組の拡大	種類	基準値	-	目標値	3	3	4	4	5
					目標値	-	実績	3				
	4			基準値		目標値						
				目標値		実績						
	エピソード	事業開始の背景	現計画となる「長久手市地域公共交通計画（令和6年度から令和10年度まで）」の推進のため、地域公共交通会議や公共交通ネットワーク調査研究会の開催、公共交通応援隊による活動などを実施している。									
		各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由										
R 6		令和7年1月に市及び市民主催による公共交通の啓発や利用促進を目的とした「ながくて公共交通フェスタ」を実施。（来場者：約1,000名。今年度初回。）	R 7									
R 8		R 9										

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標						
		徒歩や自転車で行けない離れた所に外出する際に「公共交通で行けるかどうかを考えない」人の割合の減少	%	H25 年度	H29 年度	【現状】 R4 年度	R9 年度	R14 年度		
				19.9	26.1	27.8	20	12		
		成果達成状況			指標目標値の根拠					
加える変化（ACTION）	B	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている		5年に1度実施している、公共交通に関する市民アンケートで公共交通利用に対する市民意識の高まりを確認するための指標について調査する。 また、指標目標値の設定については長久手市地域公共交通計画（令和6年3月策定）の中で計画目標及び評価指標として「公共交通で行けるかどうかを考えない」人の割合を定めている。						
		評価の理由、分析								
		年々、市内各公共交通利用者数が増加傾向で推移していることから成果指標としている「公共交通で行けるかどうかを考えない」人の割合が減少していることに反映されていると考えるため。								
		今後の方向性		今後の方向性の理由						
Ⅳ 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	A	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止	今後も市内公共交通を維持する必要があるため。						
			改善ポイント （成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）							
			見直しの余地のある取組名	見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容				見直し可能年度	
			1 公共交通ネットワーク構築事業	☒ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止	今後も公共交通の利用促進及び啓発を継続することにより、利用者の生活形態や身体状況及び地区の特性に合った多様な交通手段を提供することが可能になるため。					
			2	☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止						
			3	☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止						
令和8年度予算の方向性（PLAN）	3年間の推移	R8年度の費用（R7年度比）		（単位：千円）		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止	事業費	予算	決算	予算	決算	予算	
			7,736		7,501	3,192	2,569	2,457		
		理由		特定財源	合計額	2,800	0	0	0	0
		R6年度に事業費内の削減可能な項目を見直したため。			(内 国費)					
					(内 県費)					
					(内 諸収入)	2,800				
					(内 その他)					
		積算額		一般財源	4,936	7,501	3,192	2,569	2,457	
		未定		R7年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R6年度予算額）＞ 道路通行料 13千円（4千円） 普通旅費 13千円（11千円） 地域公共交通会議委員報償金 198千円（198千円） 食糧費 7千円（8千円） 消耗品費 66千円（111千円） 地域公共交通会議負担金 2,160千円（2,860千円）						

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度					
事業番号	119	事業名	巡回バス運行再編事業 (中事業名) 巡回バス運行再編事業		担当課		安心安全課					
					予算区分（款-項-目-中事業）		2.1.12.2 巡回バス運行再編事業					
					決算書ページ		73		～ 一般			
I 基本情報	総合計画	基本目標	6	あえて歩いてみたくなるまち								
		政策	1	外出しやすい環境の整備								
		施策	(1)	公共交通の利便性の向上								
	その他	開始年度	平成10年度									
		終了予定年度	年度	☒	未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		民間事業者とのみ協働可				
		根拠法令等										
		関連計画	長久手市地域公共交通計画									
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)				
		【対象】 ☒ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☐ その他 対象の数： 60,000人 【事業内容】 N-バスの運行を継続し、地域特性にあった補助交通となるよう、他の公共交通と連携しながら、デマンド型交通実証実験の状況を踏まえ、路線の見直しや運賃の改定を行う。		【アクションプラン指標】 N-バス利用者数【単年】 【その他の指標】 乗降調査実施回数		N-バスの乗車人数が増加する。 (成果指標名) N-バス乗車人数		大 事 業 共 通 N-バスの運行を継続し、地域特性にあった補助交通となるよう事業を進める。				
II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度	
		1	【アクションプラン指標】 N-バス利用者数【単年】	人	基準値	139,898	目標値	147,000	153,000	159,000	136,000	141,000
					目標値	141,000	実績	141,074				
		2	【その他指標】 乗降調査実施回数	回	基準値		目標値	6	6	6	6	6
					目標値		実績	6				
		3			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		4			基準値		目標値					
	目標値					実績						
	エピソード	事業開始の背景		平成10年7月1日から2台のN-バスが走り始め、市の地域公共交通に係る各種計画、長久手市地域公共交通会議での議論、市民ワークショップ等を踏まえ、ルート再編や料金改定を行い、現在5台のN-バスで市内を運行している。								
		各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由										
		R6	コロナ禍、ルート・ダイヤ改正により乗車人数の減少はみられたものの、それ以前と同程度の乗車人数になるように、引き続き、令和6年4月に策定した長久手市地域公共交通計画等をもとに取組を進めたいと考えている。 なお、収支率については、令和4年の料金改定により、上昇し現在は横ばい傾向（約7%）にあるものと言える。				R7					
		R8					R9					

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）			単位	成果指標の推移と目標										
		Nーバス乗車人数			人	R3 年度		R5 年度		【現状】 R6 年度		R8 年度		R10 年度		
						137,341		139,898		141,074		159,000		136,000		
		成果達成状況						指標目標値の根拠								
		C	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている						N-バスの運行を継続し、地域特性にあった補助交通としての達成具合を図るための定量的な指標として、長久手市地域公共交通計画と同じものを設定している。 目標値については、同計画に基づき、利用数の伸び率と路線再編（令和9年度）の減少を踏まえ積算している。							
			評価の理由、分析													
			コロナ禍前のように人の移動が増えてきた中で、Nーバスの乗車人数は前年度より増えましたが、目標よりも少なかったことからC評価とした。													
		今後の方向性			今後の方向性の理由											
		A	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止			令和6年度に策定された地域公共交通計画やその計画に位置付けられた新しい施策（デマンド）などをもとに、市としてより持続可能な地域公共交通となるように、Nーバス（デマンドを含む。）について、令和9年度の再編に向けて検討を進める。										
			改善ポイント （成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）													
見直しの余地のある取組名			見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容								見直し可能年度				
1	Nーバス運行再編事業委託			☒ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止	長久手市地域公共交通計画に基づき、地域特性にあった補助交通として持続可能な地域公共交通となるように、令和9年4月の再編に向けて、支援委託を行い本格的再編事務を進める。											
2				☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止												
3				☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止												
Ⅳ 費用	加える変化（ACTION）	R8年度の費用（R7年度比）														
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止			（単位：千円）		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度				
			理由			事業費		予算	決算	予算	決算	予算				
								400	400	400	400	7,370				
		令和9年度のNーバスの再編に向けて、毎年の乗降調査に加えて様々な取組を行っていくため、拡充した令和7年度と同様に現状維持とした。			特定財源	合計額										
						（内 国費）										
						（内 県費）										
						（内 諸収入）										
						（内 その他）										
		積算額			一般財源		400	400	400	400	400	7,370				
未定			R7年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R6年度予算額）＞ Nーバス運行再編事業委託 6,963千円（0千円） 道路通行料 7千円（0千円） 共同研究負担金 400千円（400千円）													
			3年間の推移													

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）										対象年度		令和6年度										
事業番号		120		事業名		デマンド交通実証実験事業				担当課		安心安全課										
						（中事業名） 公共交通ネットワーク構築事業				予算区分（款-項-目-中事業）		2.1.5.2 公共交通ネットワーク構築事業										
										決算書ページ		59 ～ 一般										
総合計画	基本目標		6		あえて歩いてみたくなるまち																	
	政策		1		外出しやすい環境の整備																	
	施策		(1)		公共交通の利便性の向上																	
	開始年度				令和6年度																	
	終了予定年度				令和7年度 ☐ 未定				市民・民間事業者との連携協働の可能性		民間事業者とのみ協働可											
その他	根拠法令等																					
	関連計画				長久手市地域公共交通計画																	
I 基本情報	事業の概要・目的		①事業概要 （どんな取組を行うのか）		アウトプット（詳細はⅡへ）		アウトカム（詳細はⅢへ）															
			②活動指標 （取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか）		③中間成果 （①【対象】がどのような 状態に変わるのか）		④最終成果 （大事業の将来像）															
			【対象】 ☒ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☐ その他 対象の数： 約10,000 【事業内容】 東部地域の公共交通ネットワーク改善のために、東部地域において、N-バスに代わる新たな移動手段としてデマンド型交通導入に向けた実証実験を行う。		【アクションプラン指標】 デマンド型交通導入判断【累計】 ...▶ 【その他の指標】		導入判断 （成果指標名） —		導入判断 （長久手市地域公共交通計画に示された「地域特性にあった補助交通」「N-バスに代わる新たな移動手段」を踏まえた公共交通ネットワークの構築）													
II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標		活動指標名		単位		基準値（2023年） 目標値（2025年） ※AP指標のみ		区分		R6(2024)年度		R7(2025)年度		R8(2026)年度		R9(2027)年度		R10(2028)年度			
			1 【アクションプラン指標】 デマンド型交通導入判断【累計】		—		基準値 — 目標値 導入判断		目標値 実績（着手）		導入判断											
			2				基準値 目標値		目標値 実績													
			3				基準値 目標値		目標値 実績													
			4				基準値 目標値		目標値 実績													
			事業開始の背景		令和6年3月策定の長久手市地域公共交通計画に示された「地域特性にあった補助交通」「N-バスに代わる新たな移動手段」を踏まえ、デマンド型交通の実証実験を令和6年度、令和7年度で行う。																	
エピソード	R 6		1回目の実証実験をR6. 10～R6. 11の2か月実施した。				R 7															
	R 8						R 9															

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標										
		—		年度	▶	年度	▶	【現状】	年度	▶	年度	▶	年度	
		成果達成状況						指標目標値の根拠						
		—	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている											
		評価の理由、分析												
	加える変化（ACTION）	今後の方向性	今後の方向性の理由											
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		令和7年度に2回目をを行い、導入判断を行う。									
		改善ポイント (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)												
		見直しの余地のある取組名	見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容									見直し可能年度	
		1		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止										
Ⅳ 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）	3年間の推移	(単位：千円)	R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度					
		特定財源		事業費	予算	決算	予算	決算	予算					
				0	0	9,022	8,268	10,434						
				合計額			1,115	1,000	5,717					
(内 国費)														
(内 県費)														
(内 諸収入)			1,115	1,000	1,000									
(内 その他)														
一般財源	0	0	7,907	7,268	5,717									
R7年度予算の内訳 <細々節名、予算額、（R6年度予算額）> デマンド型交通実証実験事業委託 9,861千円（9,022千円） 印刷製本費 319千円（0千円） 広報折込手数料 130千円（0千円） 通信運搬費 76千円（0千円） 消耗品費 48千円（0千円）														

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度					
事業番号	121	事業名	下川原下山1号線整備事業 (中事業名) 下川原下山1号線整備事業		担当課		土木課					
					予算区分（款-項-目-中事業）		7-2-2-6 下川原下山1号線整備事業					
					決算書ページ		178		～ 一般			
I 基本情報	総合計画	基本目標	6 あえて歩いてみたくなるまち									
		政策	1 外出しやすい環境の整備									
		施策	(2) 安心して移動できる道路の整備									
	その他	開始年度	平成25年度									
		終了予定年度	令和9年度	☐	未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働不可				
		根拠法令等										
		関連計画										
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		アウトプット（詳細はⅡへ）		アウトカム（詳細はⅢへ）						
				②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)				
		【対象】 ☐ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☒ その他 対象の数： 230m 【事業内容】 人口の増加が見込まれる下山地区及び西原山地区の住民が安心・安全に通行できるよう、下山交差点から下山橋まで東側歩道を連続的に整備する。		【アクションプラン指標】 整備延長 【その他の指標】		— (成果指標名) —		大 事 業 共 通 道路拡幅、歩道整備により、事故が減少し、歩行者が安全に通行できるようになる。				
II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2027年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度	R9(2027)年度	R10(2028)年度	
		1	【アクションプラン指標】 整備延長	m	基準値	—	目標値	—	—	13	230	—
					目標値	230	実績	—				
		2			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		3			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		4			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		事業開始の背景 下川原下山1号線の下山交差点から下山橋までの区間の東側に歩道がなく、藤が丘方面への歩行者が増加したにもかかわらず、危険な状況となっていたため、道路拡幅と両側歩道の整備を行うこととなった。										
		各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由										
		エピソード	R 6	令和8年度以降の道路拡幅工事に向けて道路修正設計、物件補償費算定、不動産鑑定評価を行った。			R 7					
			R 8				R 9					

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標									
		—		年度	▶	年度	▶	【現状】	年度	▶	年度	▶	年度
		成果達成状況				指標目標値の根拠							
		—	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている										
		評価の理由、分析											
	加える変化（ACTION）	今後の方向性	今後の方向性の理由										
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		令和9年度に整備が完了できるよう、引き続き用地交渉を進める。								
		改善ポイント (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)											
		見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容								見直し可能年度
		1		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止									
2		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止											
	3		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止										
	Ⅳ 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）		3年間の推移	(単位：千円)		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度	
B			A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止			事業費	予算	決算	予算	決算	予算		
			理由				9,789	8,894	11,550	10,254	135,840		
			歩行者の安全のため早急に整備を進める必要があるため。				合計額	0	0	0	0	45,850	
							(内 国費)	0	0	0	0	45,850	
(内 県費)		0			0	0	0	0					
(内 諸収入)		0			0	0	0	0					
積算額		(内 その他)	0	0	0	0	0						
未定				一般財源	9,789	8,894	11,550	10,254	89,990				
		R7年度予算の内訳 <細々節名、予算額、(R6年度予算額)>											
	補償金 67,000千円 (0千円)												
	用地購入費 64,000千円 (0千円)												
	下川原下山1号線事業損失調査委託 3,800千円 (0千円)												
下川原下山1号線分筆登記委託 990千円 (0千円)													
下川原下山1号線不動産鑑定委託 50千円 (50千円)													
下川原下山1号線物件補償再算定委託 0千円 (1,800千円)													
下川原下山1号線道路修正設計業務委託 0千円 (9,700千円)													

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度					
事業番号	122	事業名	浮江隅田2号線外拡幅事業 (中事業名) 浮江隅田2号線外拡幅事業		担当課		土木課					
					予算区分（款-項-目-中事業）		7-2-2-8 浮江隅田2号線外拡幅事業					
					決算書ページ		178		～	一般		
I 基本情報	総合計画	基本目標	6 あえて歩いてみたくなるまち									
		政策	1 外出しやすい環境の整備									
		施策	(2) 安心して移動できる道路の整備									
	その他	開始年度	令和元年度									
		終了予定年度	令和9年度	☐	未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働不可				
		根拠法令等										
		関連計画										
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		アウトプット（詳細はⅡへ）		アウトカム（詳細はⅢへ）						
				②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)				
		【対象】 ☐ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☒ その他 対象の数： 240m 【事業内容】 将来交通量増加に対応して、 現況道路から歩車道分離を行 い歩行者交通の安全確保を図 ることを目的とし、安全で快 適な道路を整備する。		【アクションプラン指標】 整備延長【累計】 【その他の指標】		— (成果指標名) —		大 事 業 共 通 道路拡幅、歩道整備により、 事故が減少し、歩行者が安全 に通行できるようになる。				
II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2027年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度	
		1	【アクションプラン指標】 整備延長	m	基準値	—	目標値	—	—	—	240	—
					目標値	240	実績	—				
		2			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		3			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		4			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		事業開始の背景		当該道路は、歩道が無く道路幅員が狭いにもかかわらず、交通量が多く危険な状況であることから、道路拡幅と歩道設置を行うこととなった。								
			各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由									
	エピソード	R6	令和9年度の道路拡幅工事に向け、道路修正設計を行った。			R7						
		R8				R9						

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標																																														
		—		年度	▶	年度	▶	【現状】	年度	▶	年度	▶	年度																																					
		成果達成状況						指標目標値の根拠																																										
		—	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている																																															
	評価の理由、分析																																																	
	加える変化（ACTION）	今後の方向性		今後の方向性の理由																																														
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止	令和9年度に整備が完了できるよう、引き続き用地交渉を進める。																																														
		改善ポイント (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)																																																
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容								見直し可能年度																																							
1			☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止																																															
Ⅳ 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）		3年間の推移	(単位：千円)		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度																																							
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		理由	事業費		予算	決算	予算	決算	予算																																						
						14,821	14,821	8,000	8,899	0																																								
特定財源						合計額	0	0	0	0	0																																							
(内 国費)						0	0	0	0	0																																								
		歩行者の安全のため早急に整備を進める必要があるため。	(内 県費)	0	0	0	0	0	(内 諸収入)	0	0	0	0	0	(内 その他)	0	0	0	0	0	一般財源	14,821	14,821	8,000	8,899	0	積算額		R7年度予算の内訳 <細々節名、 予算額、（R6年度予算額）>										未定											
					歩行者の安全のため早急に整備を進める必要があるため。	(内 県費)	0	0	0	0	0																																							
						(内 諸収入)	0	0	0	0	0																																							
						(内 その他)	0	0	0	0	0																																							
一般財源	14,821	14,821				8,000	8,899	0																																										
積算額		R7年度予算の内訳 <細々節名、 予算額、（R6年度予算額）>																																																
未定																																																		

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度					
事業番号	123	事業名	下山土地区画整理事業 (中事業名) -		担当課		都市計画課					
					予算区分（款-項-目-中事業）		-					
					決算書ページ		- ~ -					
I 基本情報	総合計画	基本目標	6	あえて歩いてみたくなるまち								
		政策	2	暮らし心地よい生活環境の形成								
		施策	(2)	都市基盤施設の充実								
	その他	開始年度	平成25年度									
		終了予定年度	令和7年度	☐ 未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働不可					
		根拠法令等	都市計画法、土地区画整理法									
		関連計画	都市計画マスタープラン、立地適正化計画									
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		アウトプット（詳細はⅡへ）		③中間成果 (①【対象】がどのような状態になるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)				
		【対象】 ☐ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☒ その他 対象の数： 1 【事業内容】 優れた立地条件を生かした新たな住宅地の形成を目的として、下山地区において実施する土地区画整理事業について、土地区画整理組合との事業調整及び支援により、事業の着実な進捗を図るものである。		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか) 【アクションプラン指標】 事業費進捗率 【その他の指標】		-		大 事 業 共 通		事業費進捗率100%（下山土地区画整理事業の完了、組合解散）		
						(成果指標名)						
				-								
II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2025年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度	R9(2027)年度	R10(2028)年度	
		1	【アクションプラン指標】 事業費進捗率	%	基準値	93	目標値	100	100	-	-	-
					目標値	100	実績	97				
		2			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		3			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		4			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		エピソード	事業開始の背景	下山地区は、名古屋市に隣接する立地条件に優れた地区であるにもかかわらず、未接道で不整形な農地が多く、有効な土地利用が図られていなかったものである。そこで、地区のポテンシャルを活かした魅力ある新たな市街地の整備のため、組合施行による土地区画整理事業が行われているものである。								
	各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由											
	R6		下山土地区画整理事業は、換地処分公告を行い、後は解散認可を受ける段階まで事業が進捗したが、換地処分において行政不服審査が1件提起されたため、解散認可申請書の提出まで至れていない状況である。	R7								
	R8				R9							

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標											
		—		年度	▶	年度	▶	【現状】	年度	▶	年度	▶	年度		
		成果達成状況						指標目標値の根拠							
		—	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている												
		評価の理由、分析													
	加える変化（ACTION）	今後の方向性	今後の方向性の理由												
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		組合解散に向け、引き続き支援を行うものであるため。										
		(成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)													
		見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容										見直し可能年度
		1		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止											
2		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止													
	3		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止												
Ⅳ 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）		3年間の推移	(単位：千円)	R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度					
		—	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		事業費	予算	決算	予算	決算	予算					
		理由			0	0	0	0	0						
					合計額	0	0	0	0	0					
					(内 国費)	0	0	0	0	0					
					(内 県費)	0	0	0	0	0					
					(内 諸収入)	0	0	0	0	0					
					(内 その他)	0	0	0	0	0					
		積算額			一般財源	0	0	0	0	0					
					R7年度予算の内訳 <細々節名、 予算額、（R6年度予算額）>										

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度					
事業番号	124	事業名	卯塚墓園整備事業		担当課		環境課					
			(中事業名) 卯塚墓園整備事業		予算区分（款-項-目-中事業）		2-1-1-1 卯塚墓園整備事業					
					決算書ページ		12	～	12	卯塚		
I 基本情報	総合計画	基本目標	6	あえて歩いてみたくなるまち								
		政策	2	暮らしして心地よい生活環境の形成								
		施策	(2)	都市基盤施設の充実								
	その他	開始年度	平成26年度									
		終了予定年度	年度	☒	未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働不可				
		根拠法令等										
	関連計画											
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		アウトプット（詳細はⅡへ）		③中間成果 (①【対象】がどのような状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)				
		【対象】 ☐ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☒ その他 対象の数： 8,933㎡		【アクションプラン指標】 整備面積【累計】 【その他の指標】		段階的な墓地整備を行うことで、将来にわたる市営卯塚墓園使用の需要が満たされる。 (成果指標名) —		大事業共通 美観を呈する緑地公園として体裁を保持し、墓参しやすい環境を整えることで、市営卯塚墓園使用の需要が満たされ、安定した墓地の運営ができています。				
		【事業内容】 市営卯塚墓園使用の需要に応じるとともに、美観を呈する緑地公園として体裁を保持し、墓参しやすい環境を整えるため、墓園拡張整備を実施する。										
II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度	R9(2027)年度	R10(2028)年度	
		1	【アクションプラン指標】 整備面積【累計】	㎡	基準値	6,380	目標値	—	8,933	8,933	8,933	8,933
					目標値	8,933	実績	6,380				
		2			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		3			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		4			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		エピソード	事業開始の背景	市民の多様な墓地使用の需要を満たすため								
	各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由											
	R6		墓地整備のため、整備工事の入札を実施し、契約を締結した。			R7						
	R8					R9						

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標									
		—		年度	▶	年度	▶	【現状】	年度	▶	年度	▶	年度
		成果達成状況				指標目標値の根拠							
		—	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている										
		評価の理由、分析											
	加える変化（ACTION）	今後の方向性	今後の方向性の理由										
		A	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止			将来にわたる墓地使用需要を満たすため、段階的な整備工事を実施していく							
		改善ポイント (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)											
		見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容								見直し可能年度
		1		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止									
Ⅳ 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）		3 年間の推移	（単位：千円）		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度		
		C	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		事業費		予算	決算	予算	決算	予算		
			理由		特定財源	6,985	4,620	0	0	176,330			
令和7年度に整備事業が完了する予定であるため、令和8年度は縮小する。		合計額	6,985	4,620		0	0	176,330					
		(内 国費)											
		(内 県費)											
		(内 諸収入)											
積算額		(内 その他)	6,985	4,620	0	0	176,330						
		一般財源											
R7年度予算の内訳 <細々節名、 予算額、（R6年度予算額）>													

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度					
事業番号	125	事業名	都市公園市民協働事業 (中事業名) 公園維持管理事業		担当課		みどりの推進課					
					予算区分（款-項-目-中事業）		7-4-3-2 公園維持管理事業					
					決算書ページ		- ~ -					
I 基本情報	総合計画	基本目標	6	あえて歩いてみたくなるまち								
		政策	2	暮らして心地よい生活環境の形成								
		施策	(2)	都市基盤施設の充実								
	その他	開始年度	令和2年度									
		終了予定年度	令和6年度	☐	未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		市民とのみ協働可				
		根拠法令等	都市公園法									
		関連計画	長久手市緑の基本計画									
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)				
		【対象】 ☒ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☐ その他 対象の数： 60,000人 【事業内容】 都市公園において市民主体の 維持管理及び利活用を推進し ていきます。		【アクションプラン指標】 愛護会主体のイベント実施件 数【年】 ...▶▶▶ 【その他の指標】		安全で快適な公園の利活用が 進み、都市公園愛護会のある 公園数が増加 (成果指標名) 愛護会がある公園数		大 事 業 共 通 市民主体で公園の維持管理が 行われるようになり、公園の 利活用が活発化し、安全で快 適なまちとなる。				
II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度	
		1	【アクションプラン指標】 愛護会主体のイベント実施件数【年】	件	基準値	-	目標値	-	10	15	20	25
					目標値	25	実績	5				
		2			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		3			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		4			基準値		目標値					
					目標値		実績					
	事業開始の背景		「長湫中部1号緑地」において市民主体の維持管理・運営を先進事例として進めてきた。令和6年度4月に愛護会が設立し、主体的にイベントを企画・開催できるまで熟した。今後は、愛護会制度を改正し、より柔軟に公園を活用できるよう愛護会制度を改正し、この取り組みを市内に展開していく。									
	各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由											
	エピソード	R6	・長湫中部1号緑地にて愛護会を設立し、市民によるイベント企画、運営を実施（R7.2.15の1回） ・公園西駅2号公園にて、愛護会活動の懇親会としてイベントを行った（R6.8.24、R6.10.12、R7.2.8の3回） ・一ノ井1号公園について、自治会（愛護会）主体のイベントを行った（R6.12.8の1回）			R7						
		R8				R9						

III 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標										
		愛護会がある公園数	公園	R4 年度		R5 年度		【現状】 R6 年度		R11 年度		R16 年度		
				41		40		41		45		50		
		成果達成状況						指標目標値の根拠						
		B	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている						全ての都市公園（50）に対し、愛護会が活動していることを目標とする。また、目標年次としては、毎年1団体増やしていくことを想定し、10年後の令和16年（2034）を目標年次とする。					
			評価の理由、分析											
			新規自治会の設立による影響で愛護会団体が増加。一方で、子供の会の解散に伴う愛護会の解散もある。											
		今後の方向性			今後の方向性の理由									
		加える変化（ACTION）	B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		長湊中部1号緑地の事例を先進事例として、他の愛護会に広げていきたい。手法としては、指定管理者の地域共生事業との連携をしつつ、愛護会要綱の改正を行うことで、今よりもより柔軟に公園を利用いただけるようにする。								
				改善ポイント （成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）										
見直しの余地のある取組名				見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容							見直し可能年度		
1	愛護会要綱の改正			☐ 拡充 ☒ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止	現在の愛護会要綱が主に除草・清掃等の日常管理の一部を担う内容となっているが、今後の公園利活用を促進を踏まえ、公園をより柔軟に利用いただくためイベント実施のサポート等も視野に入れた要綱の改正を検討したい。							R 8		
2				☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止										
3		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止												
IV 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）		3年間の推移	（単位：千円）		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度			
		D	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		事業費	予算	決算	予算	決算	予算				
			理由			336	336	0	0	0				
			長久手中部1号緑地にて、地域住民が主体となった公園の維持管理運営を目指し、令和2年度から住民参加型イベント等運営支援を委託している。令和4年度までは人材発掘及び育成を進め、令和5年度に「楽しみ隊」が発足した。令和6年度には、愛護会として組織化することが出来たため、令和5年度で委託は終了とした。			合計額	0	0	0	0	0			
		（内 国費）				0	0	0	0	0				
		（内 県費）				0	0	0	0	0				
		（内 諸収入）			0	0	0	0	0					
		（内 その他）	0		0	0	0	0						
		積算額			一般財源	336	336	0	0	0				
		R7年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R6年度予算額）＞												

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度						
事業番号	126	事業名	公園長寿命化事業 (中事業名) 公園長寿命化事業		担当課		みどりの推進課						
					予算区分（款-項-目-中事業）		7-4-3-2 公園長寿命化事業						
					決算書ページ		- ~ -						
I 基本情報	総合計画	基本目標	6 あえて歩いてみたくなるまち										
		政策	2 暮らし心地よい生活環境の形成										
		施策	(2) 都市基盤施設の充実										
	その他	開始年度	—										
		終了予定年度	年度	☒	未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働不可					
		根拠法令等	無し										
		関連計画	長久手市みどりの推進計画、長久手市緑の基本計画、長久手市立地適正化計画										
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)					
		【対象】 ☐ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☒ その他 対象の数： 14公園 【事業内容】 「立地適正化計画」に基づき、都市計画税を活用しながら公園のバリアフリー化及び公園長寿命化工事を行います。		【アクションプラン指標】 ・バリアフリー化工事に着手した公園数【2024年度～2028年度累計】 ・長寿命化工事を実施した公園数【2024年度～2028年度累計】 【その他の指標】		(成果指標名) —		大 事 業 共 通 老朽化が進む都市公園について、バリアフリー化や長寿命化工事を計画的に進めることで、良好な居住環境の維持・充実に図ります。					
	II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度	
1			【アクションプラン指標】 バリアフリー化工事に着手した公園数【2024年度～2028年度累計】	公園	基準値 — 目標値 6	目標値	— 実績 0	—	—	—	3	6	
2			【アクションプラン指標】 長寿命化工事を実施した公園数【2024年度～2028年度累計】	公園	基準値 — 目標値 8	目標値	— 実績 0	—	—	—	6	8	
3					基準値 目標値	目標値 実績							
4					基準値 目標値	目標値 実績							
事業開始の背景			「立地適正化計画」にて、老朽化が進む都市施設の計画的な改修が位置づけられており、事業を推進することで良好な居住環境の維持・充実に図りつつ、利用者の安心・安全を確保する。										
各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由													
R 6			立地適正化計画に基づくみなし事業認可の取得を検討している中で、先進事例を調査・研究した。事業を進めるにあたり、個別施設計画（都市公園施設長寿命化計画）との整合性や実際の整備内容に即した計画図が判明したことから、R 7年度に実施するため予算要求を行った。	R 7									
R 8			R 9										

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標									
		—		年度	▶	年度	▶	【現状】	年度	▶	年度	▶	年度
		成果達成状況				指標目標値の根拠							
		—	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている										
		評価の理由、分析											
	加える変化（ACTION）	今後の方向性	今後の方向性の理由										
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		令和9年度からの事業実施に向け、計画の見直しや必要な図書の作成を進めて行く。								
		改善ポイント (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)											
		見直しの余地のある取組名	見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容							見直し可能年度		
		1		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止									
2		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止											
3		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止											
Ⅳ 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）		3年間の推移	（単位：千円）		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度		
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		事業費		予算	決算	予算	決算	予算		
		理由			特定財源	合計額	—	—	—	—	—	0	
		令和7年度に実施した委託成果を踏まえ、事務手続きを進めて行く。				（内 国費）	—	—	—	—	—	0	
						（内 県費）	—	—	—	—	—	0	
						（内 諸収入）	—	—	—	—	—	0	
						（内 その他）	—	—	—	—	—	0	
		積算額			一般財源	—	—	—	—	—	—	14,315	
		R7年度予算の内訳 <細々節名、予算額、（R6年度予算額）> 都市公園長寿命化計画更新業務委託 8,297千円（0千円） 公園基本計画業務委託 6,018千円（0千円）											

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度					
事業番号	127	事業名	橋梁長寿命化事業 (中事業名) 橋梁長寿命化事業		担当課		土木課					
					予算区分（款-項-目-中事業）		7-2-1-6 橋梁長寿命化事業					
					決算書ページ		177		～	一般		
I 基本情報	総合計画	基本目標	6	あえて歩いてみたくなるまち								
		政策	2	暮らして心地よい生活環境の形成								
		施策	(2)	都市基盤施設の充実								
	その他	開始年度	平成23年度									
		終了予定年度	年度	☒	未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働不可				
		根拠法令等	道路法									
		関連計画	橋梁長寿命化修繕計画									
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		アウトプット（詳細はⅡへ）		アウトカム（詳細はⅢへ）						
		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)						
	【対象】 ☐ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☒ その他 対象の数： 24橋 【事業内容】 橋梁長寿命化計画に基づき、 高根橋外23橋梁の長寿命化 工事及び耐震化工事を行う。		【アクションプラン指標】 修繕橋梁数【2024年度～2028 年度累計】 【その他の指標】		— (成果指標名) —		大 事 業 共 通 計画的な修繕を行うことによ り、維持管理費が削減され、 市の財政の健全化につながる。					
II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度	
		1	【アクションプラン指標】 修繕橋梁数【2024年度～2028年度累計】	橋	基準値	—	目標値	4	9	14	19	24
					目標値	24	実績	4				
		2			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		3			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		4			基準値		目標値					
	目標値					実績						
	エピソード	事業開始の背景		急激に老朽化する道路インフラについて、計画的かつ予防的な対応を図るため、修繕計画に基づき修繕を行うこととした。また、日常においては、安全で快適に道路を利用できるよう、適切な維持管理が求められている。								
		各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由										
		R 6	橋梁長寿命化修繕計画に基づき、4橋の工事を行った。			R 7						
		R 8				R 9						

III 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標									
		—		年度	▶	年度	▶	【現状】	年度	▶	年度	▶	年度
		成果達成状況				指標目標値の根拠							
		—	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている										
	評価の理由、分析												
	加える変化（ACTION）	今後の方向性	今後の方向性の理由										
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		今後も橋梁長寿命化計画に基づき、計画的に修繕を行う。								
		改善ポイント (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)											
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容							見直し可能年度			
1			☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止										
2			☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止										
3			☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止										
IV 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）		3年間の推移	（単位：千円）		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度		
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		理由	事業費	予算	決算	予算	決算	予算		
							10,000	9,824	68,000	51,218	50,700		
		老朽化する橋梁について、計画的かつ予防的に修繕を行い、安全で快適な通行を維持していく必要があるため。	特定財源		合計額	0	0	20,790	4,949	13,860			
					（内 国費）	0	0	20,790	4,949	13,860			
					（内 県費）	0	0	0	0	0			
					（内 諸収入）	0	0	0	0	0			
					（内 その他）	0	0	0	0	0			
		一般財源	10,000		9,824	47,210	46,269	36,840					
		積算額	R7年度予算の内訳 ＜細々節名、予算額、（R6年度予算額）＞ 橋梁補修等設計業務委託 14,700千円（14,000千円） 橋梁長寿命化等修繕工事 36,000千円（54,000千円）										
未定													

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度						
事業番号	128	事業名	下水道施設長寿命化等事業 (細節名) 長寿命化事業委託			担当課		下水道課					
						予算区分（款-項-目-細節）		4-1-3 長寿命化事業委託					
						決算書ページ		- ~ - 下水					
I 基本情報	総合計画	基本目標	6		あえて歩いてみたくなるまち								
		政策	2		暮らしして心地よい生活環境の形成								
		施策	(2)		都市基盤施設の充実								
	その他	開始年度			平成2年度								
		終了予定年度			令和9年度		☐	未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		民間事業者とのみ協働可		
		根拠法令等			下水道法								
	関連計画												
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		アウトプット（詳細はⅡへ）		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		アウトカム（詳細はⅢへ）		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)	
		【対象】 ☐ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☒ その他 対象の数： 1 【事業内容】 計画的に長久手浄化センターの耐震化を行い、持続可能な下水道機能を確保する。		【アクションプラン指標】 長久手浄化センター耐震化施設数【2024年度～2028年度累計】 【その他の指標】		— (成果指標名) —		— 大 事 業 共 通		耐震機能を備えた災害に強い施設になる。			
	Ⅱ 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度	
1			【アクションプラン事業】 長久手浄化センター耐震化施設数【2024年度～2028年度累計】	棟	基準値	1	目標値	1	1	1	1	2	
					目標値	2	実績	1					
2					基準値		目標値						
					目標値		実績						
3					基準値		目標値						
					目標値		実績						
4					基準値		目標値						
					目標値		実績						
事業開始の背景			長久手市公共下水道長寿命化計画（長久手浄化センター）に位置付けた長寿命化工事を実施した。現在は長久手市下水道ストックマネジメント計画に基づき事業を実施している。										
各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由													
エピソード		R6	長久手市下水道事業ストックマネジメント計画に基づき耐震化事業を実施するための、社会資本整備総合交付金の交付申請事務を行った。			R7							
		R8				R9							

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標					
		—	%	H30 年度	R4 年度	【現状】 R6 年度	年度	年度	
		成果達成状況			指標目標値の根拠				
		A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている							
		評価の理由、分析							
	加える変化（ACTION）	今後の方向性	今後の方向性の理由						
		A	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止	長久手市ストックマネジメント計画に基づき事業を実施する。					
		改善ポイント (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)							
		見直しの余地のある取組名	見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容				見直し可能年度	
		1	☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止						
Ⅳ 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）	3年間の推移	(単位：千円)	R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度
		A		事業費	予算	決算	予算	決算	予算
		A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		69,000	66,360	0	0	92,000	
		理由		合計額	69,000	66,360	0	0	36,135
		令和7年度から令和9年度まで3年間事業であるため、年度ごとの事業計画による。		(内 国費)	34,500	32,700	0	0	36,135
		積算額		特定財源	(内 県費)	0	0	0	0
				(内 諸収入)	0	0	0	0	0
				(内 その他)	34,500	33,660	0	0	55,865
				一般財源	0	0	0	0	0
				R7年度予算の内訳 <細々節名、 予算額、（R6年度予算額）> 長寿命化事業委託 92,000千円（0千円）					
		委託費 476,700千円							

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）				対象年度		令和6年度						
事業番号	129	事業名	杓ヶ池公園改修事業		担当課		生涯学習課					
			(中事業名) 杓ヶ池公園管理事業		予算区分（款-項-目-中事業）		9-5-2-1 杓ヶ池公園管理事業					
					決算書ページ		241 ~ 一般					
I 基本情報	総合計画	基本目標	6	あえて歩いてみたくなるまち								
		政策	2	暮らして心地よい生活環境の形成								
		施策	(2)	都市基盤施設の充実								
	その他	開始年度	令和5年度									
		終了予定年度	令和8年度	☐ 未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働可					
		根拠法令等	都市公園法、長久手市都市公園条例、長久手市都市公園条例施行規則、長久手市体育館施設設置及び管理に関する条例									
		関連計画	長久手市スポーツ推進計画、長久手市公共施設等総合管理計画、長久手市公共施設個別施設計画									
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		アウトプット（詳細はⅡへ）		アウトカム（詳細はⅢへ）						
		【対象】 ☐ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☒ その他 対象の数： 1 【事業内容】 供用開始から35年以上経過し、老朽化がみられる杓ヶ池公園（杓ヶ池体育館含む。）について、利用者の利便性を高めるための大規模改修を行う。		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。また、それがどうなるのか) 【アクションプラン指標】 改修完了施設数【累計】 【その他の指標】 指定管理者制度の導入による施設利用者数の増加		③中間成果 (①【対象】がどのような状態に変わるのか) ・杓ヶ池体育館及び公園の利用者が増える。 ・施設利用者の満足度が向上する。 ・施設の耐久性が向上する。 (成果指標名) 施設利用者数						
				④最終成果 (大事業の将来像) ・指定管理者のノウハウを利用することで、効果的、効率的な施設の維持及び管理をすることができる。 ・施設の耐久性の向上、メンテナンス費用を削減することができる。								
		大事業共通										
II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度	R9(2027)年度	R10(2028)年度	
		1	【アクションプラン指標】 改修完了施設数	施設	基準値	-	目標値	-	-	1	-	-
					目標値	1	実績	-				
		2	【その他の指標】 指定管理者制度の導入による施設利用者数の増加	人	基準値	9,000	目標値	12,000	12,250	-	12,500	12,750
					目標値	12,750	実績	11,892				
		3			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		4			基準値		目標値					
	目標値					実績						
	エピソード	事業開始の背景 市民がスポーツ施設及び公園を安全に利用することができるようにするためには、経年劣化している施設を適正に維持管理する必要がある。										
		各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由										
		R6	施設利用者の満足度が高まるよう、指定管理者が定期的に杓ヶ池公園の清掃や樹木の剪定をしており、苦情件数は減少している。			R7						
		R8				R9						

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）		単位	成果指標の推移と目標						
		施設利用者数		人	5 年度	6 年度	【現状】	7 年度	8 年度	9 年度	
					8,878	11,892	-	-	-		
		成果達成状況				指標目標値の根拠					
		C	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている			利用者数の推移を調査するための指標として、トレーニングジムの利用者数で判断する。					
	評価の理由、分析										
	令和5年度の当初にジムのトレーニングマシンを交換しているため、工事期間中の利用数が計上されていないが、利用者の利用意欲は向上していると思われ、令和6年度の利用者数は増加しているが、分析としてはどちらともいえない。										
	加える変化（ACTION）	今後の方向性		今後の方向性の理由							
		A	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		杓ヶ池体育館を大規模修繕することにより、利用者の満足度が向上し、利用者数が増加する。						
		改善ポイント									
（成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）											
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容					見直し可能年度			
1	杓ヶ池体育館アリーナ空調設備導入	☒ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止	杓ヶ池体育館の大規模修繕工事と同時に、アリーナに空調設備を導入することにより、工期の短縮及び経費の削減が期待できる。					R8			
2		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止									
3		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止									
Ⅳ 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）		3年間の推移	（単位：千円）		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度
		A	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		事業費		予算	決算	予算	決算	予算
		理由					60,000	59,646	60,295	58,904	60,095
		令和8年度は、杓ヶ池体育館アリーナの空調設備導入と大規模改修工事を行うため、拡充となる。また、空調設備導入工事費及び大規模改修工事費（時点修正）については、現在業務委託の準備中。			特定財源	合計額	0	0	0	0	0
						（内 国費）	0	0	0	0	0
						（内 県費）	0	0	0	0	0
						（内 諸収入）	0	0	0	0	0
						（内 その他）	0	0	0	0	0
		積算額			一般財源		60,000	59,646	60,295	58,904	60,095
		修繕料2,000千円 体育施設等指定管理料58,000千円 冷風機賃借料95千円 空調設備設置費 準備中 大規模修繕工事費 準備中			R7年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R6年度予算額）＞ 修繕料2,000千円（2,000千円） 体育施設等指定管理料58,000千円（58,200千円） 冷風機賃借料95千円（95千円）						

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度					
事業番号	130	事業名	舗装修繕事業 (中事業名) 舗装修繕事業		担当課		土木課					
					予算区分（款-項-目-中事業）		7-2-1-7 舗装修繕事業					
					決算書ページ		177		～	一般		
I 基本情報	総合計画	基本目標	6 あえて歩いてみたくなるまち									
		政策	2 暮らしして心地よい生活環境の形成									
		施策	(2) 都市基盤施設の充実									
	その他	開始年度	平成26年度									
		終了予定年度	年度	☒	未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働不可				
		根拠法令等	道路法									
		関連計画	舗装修繕計画									
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)				
		【対象】 ☐ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☒ その他 対象の数： 7路線 【事業内容】 舗装損傷が著しい下山長箴1号線外6路線の幹線道路について、損傷程度から優先順位を付け、順次修繕工事を行う。		【アクションプラン指標】 整備路線数【2024年度～2028年度累計】 【その他の指標】		— (成果指標名) —		大 事 業 共 通 計画的な修繕を行うことにより、維持管理費が削減され市の市の財政の健全化につながる。				
	II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度	R9(2027)年度	R10(2028)年度
1			【アクションプラン指標】 整備路線数【2024年度～2028年度累計】	路線	基準値	—	目標値	1	3	5	6	7
					目標値	7	実績	1				
2					基準値		目標値					
					目標値		実績					
3					基準値		目標値					
					目標値		実績					
4					基準値		目標値					
		目標値				実績						
エピソード		事業開始の背景 急激に老朽化する道路インフラについて、計画的かつ予防的な対応を図るため、修繕計画に基づき修繕を行うこととした。また、日常においては、安全で快適に道路を利用できるよう、適切な維持管理が求められている。										
		各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由										
		R 6	舗装修繕計画に基づき1路線の舗装修繕工事を行った。			R 7						
		R 8				R 9						

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標									
		—		年度	▶	年度	▶	【現状】	年度	▶	年度	▶	年度
		成果達成状況				指標目標値の根拠							
		—	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている										
		評価の理由、分析											
	加える変化（ACTION）	今後の方向性	今後の方向性の理由										
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止			今後も舗装修繕計画に基づき、計画的に修繕を行う。							
		改善ポイント （成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）											
		見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容								見直し可能年度
		1		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止									
2		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止											
	3		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止										
Ⅳ 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）		3年間の推移	（単位：千円）	R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度			
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止			事業費	予算	決算	予算	決算	予算		
			理由				22,000	18,429	52,000	47,591	40,000		
		損傷が著しい幹線道路の舗装について、計画的に修繕を行い、安全で快適な通行を維持していく必要があるため。				特定財源	合計額	7,700	4,500	18,200	6,936	14,000	
							（内 国費）	7,700	4,500	18,200	6,936	14,000	
							（内 県費）	0	0	0	0	0	
							（内 諸収入）	0	0	0	0	0	
							（内 その他）	0	0	0	0	0	
		一般財源				14,300	13,929	33,800	40,655	26,000			
		積算額				R7年度予算の内訳 ＜細々節名、予算額、（R6年度予算額）＞ 舗装修繕工事 40,000千円（52,000千円）							
未定													

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度						
事業番号	131	事業名	文化の家施設整備事業（一部改修） （中事業名） 文化の家整備事業		担当課		生涯学習課						
					予算区分（款-項-目-中事業）		9-4-5-3 文化の家整備事業						
					決算書ページ		- ~ -						
I 基本情報	総合計画	基本目標	6	あえて歩いてみたくなるまち									
		政策	2	暮らし心地よい生活環境の形成									
		施策	(2)	都市基盤施設の充実									
	その他	開始年度	令和6年度										
		終了予定年度	令和8年度	☐	未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働不可					
		根拠法令等											
		関連計画											
	事業の概要・目的	①事業概要 （どんな取組を行うのか）		②活動指標 （取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか）		③中間成果 （①【対象】がどのような 状態に変わるのか）		④最終成果 （大事業の将来像）					
		【対象】 ☐ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☒ その他 対象の数： 1 施設		【アクションプラン指標】 改修施設数【累計】 【その他の指標】		— （成果指標名） —		— 大 事 業 共 通 文化芸術の拠点施設として多くの市民に利用され、また災害時には市の避難所として被災者を受け入れる役割を果たす施設でもあるため、施設の安全対策を強化し市民が安心して利用できる施設に改修するものである。					
		【事業内容】 特定天井改修工事に併せてホール客席外周通路・楽屋通路などのLED化、昇降機改修、舞台監視カメラ・ITV更新、ホールホリゾン幕のボーダーライトLED化等実施することで文化芸術による交流のための環境整備を行います。											
II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2026年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度		
		1	【アクションプラン指標】 改修施設数	施設	基準値	—	目標値	—	—	1	—	—	
					目標値	1	実績	—					
		2			基準値		目標値						
					目標値		実績						
		3			基準値		目標値						
					目標値		実績						
		4			基準値		目標値						
					目標値		実績						
		事業開始の背景 開館から27年が経過し、電気・機械設備、舞台機構、舞台照明、舞台音響、外構など施設全体が老朽化していることから、計画的に修繕を実施する必要があり、特定天井の改修工事と併せて設備等の改修・更新工事を実施するものである。											
		各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由											
		エピソード	R 6	契約日 令和7年2月3日 工事名 文化の家特定天井等改修工事（ゼロ債務、余裕期間・発注者指定） 契約額 813,445,600円（税込み） 請負者 名古屋守山区大森1丁目2701番地 （株）宇佐美組名古屋支店	R 7								
			R 8				R 9						

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標									
		—		年度	▶	年度	▶	【現状】	年度	▶	年度	▶	年度
		成果達成状況				指標目標値の根拠							
		—	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている										
		評価の理由、分析											
加える変化（ACTION）		今後の方向性	今後の方向性の理由										
		—	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止										
		改善ポイント (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)											
		見直しの余地のある取組名	見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容							見直し可能年度		
		1		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止									
Ⅳ 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）		3年間の推移	(単位：千円)	R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度			
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止			事業費	予算	決算	予算	決算	予算		
		理由	40,299			32,890	45,478	0	785,000				
	令和7年度、8年度の2カ年にわたる同一の工事のため	特定財源	合計額	7,552	4,858	40,991	0	783,943					
			(内 国費)	7,552	4,858	2,091	0	16,243					
			(内 県費)										
			(内 諸収入)			38,900	0	588,700					
			(内 その他)					179,000					
			一般財源	32,747	28,032	4,487	0	1,057					
	積算額		R7年度予算の内訳 <細々節名、予算額、（R6年度予算額）>										
			特定天井等改修工事 760,665千円（32,420千円） 特定天井等改修工事監理業務委託 24,335千円（13,058千円） ※令和5年度歳入 文化の家特定天井改修工事実施設計費：4,858,000円										

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度					
事業番号	132	事業名	せせらぎの径再整備事業 (中事業名) せせらぎの径再整備事業		担当課		みどりの推進課					
					予算区分（款-項-目-中事業）		7-4-3-5 せせらぎの径再整備事業					
					決算書ページ		- ~ -					
I 基本情報	総合計画	基本目標	6 あえて歩いてみたくなるまち									
		政策	2 暮らし心地よい生活環境の形成									
		施策	(2) 都市基盤施設の充実									
	その他	開始年度	令和3年度									
		終了予定年度	令和9年度	☐	未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働不可				
		根拠法令等	—									
	関連計画	—										
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		アウトプット（詳細はⅡへ）		アウトカム（詳細はⅢへ）						
		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)						
	【対象】 ☐ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☒ その他 対象の数： 1施設 【事業内容】 令和3年度の調査・検討委託の結果、水路部の流水機能を廃止することとなったせせらぎの径において、水景施設等の施設の再整備を行います。		【アクションプラン指標】 整備延長【累計】 【その他の指標】		— (成果指標名) —		大 事 業 共 通 せせらぎの径を再整備すること で、利用者に憩いの空間を 確保する。					
II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2027年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度	
		1	【アクションプラン指標】 整備延長【累計】	m	基準値	—	目標値	—	—	—	350	—
					目標値	350	実績	—				
		2			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		3			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		4			基準値		目標値					
	目標値					実績						
	事業開始の背景 令和2年度に水路部の経年劣化に伴い水が底を抜けて、水が流れない状況となった。水が抜けるとせ、せせらぎの径の下部に空隙ができ陥没する危険性もあったため、ポンプの汲み上げを中止し、せせらぎの機能を一時中断した。令和3年度に水路部の劣化状況を把握するため、調査・検討委託を発注。調査結果としては、大きな空隙はなく陥没の恐れはないことが判明したが、水路部を全て修繕した場合、相当額の費用が掛かることから、せせらぎの水路としての機能は廃止する方針となり、廃止になった水路の上部利用については、地域住民の意見を聞きながら検討を進めていくことになった。											
	各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由											
	エピソード	R6	令和5年度の詳細設計の見直しを進めつつ予算要求事務を進めたが、国の補助金が獲得できることが判明したため、事業を先送りする方針となった。			R7						
		R8				R9						

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標									
		—		年度	▶	年度	▶	【現状】	年度	▶	年度	▶	年度
		成果達成状況				指標目標値の根拠							
		—	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている										
		評価の理由、分析											
	加える変化（ACTION）	今後の方向性	今後の方向性の理由										
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止			引き続き設計成果の見直しを進め、事業効果が最大限図られる設えを検討する。							
		改善ポイント (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)											
		見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容								見直し可能年度
		1		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止									
Ⅳ 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）		3年間の推移	(単位：千円)	R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度			
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		事業費	予算	決算	予算	決算	予算			
			理由			14,790	14,020	—	—	—			
			事業を先送りしたため			合計額	14,790	14,020	—	—	—		
						(内 国費)	0	0	—	—	—		
(内 県費)	0	0			—	—	—						
(内 諸収入)	0	0			—	—	—						
積算額		(内 その他)	14,790	14,020	—	—	—						
		一般財源	0	0	—	—	—						
R7年度予算の内訳 <細々節名、 予算額、（R6年度予算額）>													

令和7年度長久市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度					
事業番号	133	事業名	街路樹市民管理事業		担当課		みどりの推進課					
					予算区分（款-項-目-中事業）		7-1-1-3 街路樹市民管理事業					
			（中事業名）街路樹市民管理事業		決算書ページ		175 ～ 一般					
I 基本情報	総合計画	基本目標	6	あえて歩いてみたくなるまち								
		政策	2	暮らし心地よい生活環境の形成								
		施策	(3)	良好な住環境の形成								
	その他	開始年度	令和2年度									
		終了予定年度	年度	☒	未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働可				
		根拠法令等	無し									
		関連計画	無し									
	事業の概要・目的	①事業概要 （どんな取組を行うのか）		②活動指標 （取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか）		③中間成果 （①【対象】がどのような 状態に変わるのか）		④最終成果 （大事業の将来像）				
		【対象】 ☒ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☐ その他 対象の数： 60,000人 【事業内容】 アダプト制度を活用し、街路樹の清掃、除草、水やり及び損傷等の情報提供について、市民の力を借り、適正な管理を行います。		【アクションプラン指標】 街路樹アダプト制度登録者数（件） 【その他の指標】		アダプト制度へ参加する人が増加することで、街路樹に対し愛着を持っていただくとともに、良好な都市景観が保たれていると思っている市民が増加する （成果指標名） 良好な都市景観がつくられていると思っている市民の割合		大事業共通 市民の街路樹への愛着の形成、街路樹管理の質の向上。				
II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度	R9(2027)年度	R10(2028)年度	
		1	【アクションプラン指標】 街路樹アダプト制度登録者数（件）	件	基準値	12	目標値	15	18	20	22	24
					目標値	24	実績	15				
		2			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		3			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		4			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		エピソード	事業開始の背景		令和元年度に土木課から事業移管後、課題を抽出して、市民が参加しやすいことを意識した制度にして試行。令和4年7月から上級者制度及び初級者制度を設け、ハードルを下げた本格運用を開始した。ホームページや広報にて周知を行い、登録者数の増加に努めている。							
	各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由											
	R6		令和6年度は図書館通り沿いの店舗等に直接PRを行い、登録者の増加を図った。また、登録団体をPRするための看板を現地に設置した。		R7							
	R8				R9							

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標								
		良好な都市景観がつくられていると思っている市民の割合	%	28 年度	4 年度	【現状】	— 年度	8 年度	年度			
				44.2	41.5		—	60.0				
		成果達成状況			指標目標値の根拠							
		D	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている			第6次長久手市総合計画の基本目標6「あえて歩いてみ たくなるまち」の成果指標及び数値を準用						
		評価の理由、分析										
		成果指標の数値としては減少している。今後も継続して登録者数を増やす必要があると考える。										
		今後の方向性		今後の方向性の理由								
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		引き続き幹線道路沿線の店舗について声掛けを行い、登録者を増やしていく							
		改善ポイント (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)										
見直しの余地のある取組名		見直しの 方向性	理由及び具体的な見直しの内容				見直し 可能年度					
1	登録団体のPR看板の設置	☐ 拡充 ☒ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止	令和6年度までは市で自前で看板を作成しPR看板を設置していた。令和7年度は消耗品で看板作成の予算を確保したため、看板設置を推奨していく。				R 8					
2		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止										
3		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止										
Ⅳ 費用	加える変化（ACTION）	R8年度の費用（R7年度比）		(単位：千円)		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度		
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止	理由	特定財源	事業費		予算	決算	予算	決算	予算
						合計額	10	0	10	9	71	
		(内 国費)	0	0		0	0	0				
		(内 県費)	0	0		0	0	0				
		(内 諸収入)	0	0		0	0	0				
		(内 その他)	0	0		0	0	0				
		積算額		一般財源		10	0	10	9	71		
		従来とおり事業を継続させるため		R7年度予算の内訳 <細々節名、 予算額、（R6年度予算額）> 消耗品費 71千円（10千円）								
令和8年度予算の方向性（PLAN）		3年間の推移										

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度					
事業番号	134	事業名	空家等対策推進事業 (中事業名) 建築開発事務事業		担当課		都市計画課					
					予算区分（款-項-目-中事業）		7-5-2-1 建築開発事務事業					
					決算書ページ		185		～ 一般			
I 基本情報	総合計画	基本目標	6	あえて歩いてみたくなるまち								
		政策	2	暮らし心地よい生活環境の形成								
		施策	(3)	良好な住環境の形成								
	その他	開始年度	令和6年度									
		終了予定年度	年度	☒	未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		民間事業者とのみ協働可				
		根拠法令等	空家等対策の推進に関する特別措置法									
		関連計画	長久手市空家等対策計画									
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)				
		【対象】 ☐ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☒ その他 対象の数： 0.90%		【アクションプラン指標】 市が受けた空家等の相談のうち、 解消につながった件数 【その他の指標】 空家等相談会・セミナー等の 開催の回数		住宅総数に対する空家等の割合の 増加が抑制されている。 (成果指標名) 住宅・土地統計調査における 一戸建て住宅の空き家の割合 (次回調査令和10年)		大 事 業 共 通 管理されない空家等の解消 や発生抑制により、防災性 や安全性の低下、公衆衛生の 悪化、環境の阻害等の問題を 防ぐことができ、地域住民の 良好な生活環境を維持するこ とができる。				
		【事業内容】 管理されていない空家等を解消 し、発生を抑制することで、良好 な住環境の形成を推進する。 対象の数は、住宅・土地統計調 査における、住宅総数に対する一 戸建て住宅の空き家割合										
II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度	
		1	【アクションプラン指標】 市が受けた空き家相談のうち、解消につな がった件数	件	基準値	1	目標値	1	1	1	1	
					目標値	1	実績	4				
		2	【その他指標】 空家等相談会・セミナー等の開催の回数	回	基準値	1	目標値	1	2	2	2	
					目標値	2	実績	1				
		3			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		4			基準値		目標値					
	目標値					実績						
	エピソード	事業開始 の背景		これまででも空家等の対策を行ってきたが、今後、高齢化が急激に進む中、空家等の増加は避けられない状況となることが予測されるた め、令和6年度に「長久手市空家等対策計画」を策定した。								
		各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由										
		R 6	空家等の所有者や、これから空家等の対策が必要となりつつ方々に対し て、空家等の問題意識の醸成や、市の取組を知っていただき、市への相談 に繋がれることで、空家の発生抑制や解消を進めるため、空家等対策計 画を策定した。		R 7							
		R 8			R 9							

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）		単位	成果指標の推移と目標									
		住宅・土地統計調査における一戸建て住宅の空き家の割合 （次回調査令和10年）		%	R4 年度		R5 年度		【現状】 R6 年度		R11 年度		R16 年度	
					—		—		0.9		1.2		1.2	
		成果達成状況					指標目標値の根拠							
		C A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている					対策の対象は管理されない空家等であり、本市のこれまでの対応状況から一戸建て住宅を中心に推進するものとする。 また今後、高齢化が急激に進む中、空家等の増加は避けられない状況が予測されるため、空家等の割合を抑制することを目標とする。							
		評価の理由、分析												
		令和6年度に空家等対策計画を策定したため。												
		加える変化（ACTION）	今後の方向性	今後の方向性の理由										
				A A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		空家等の所有、管理等をする方が専門的なアドバイスや相談を受けられるように、法務、不動産、建築等の連携を充実させる。								
				改善ポイント （成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）										
見直しの余地のある取組名				見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容							見直し可能年度		
1	空家等対策の協定			☒ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止	空家等の所有、管理等をする方が専門的なアドバイスや相談を受けられるように、現在の2団体に加え、法務、不動産、建築等の連携を充実させる。									
2				☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止										
3				☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止										
Ⅳ 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）			R8年度の費用（R7年度比）		（単位：千円）		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度		
				B A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		事業費		予算	決算	予算	決算	予算		
				理由				0	0	435	197	271		
		空家等対策を推進するため、周知や啓発活動が必要である。		特定財源	合計額	0	0	0	0	0				
					(内 国費)									
					(内 県費)									
					(内 諸収入)									
					(内 その他)									
		積算額		一般財源		0	0	435	197	271				
				R7年度予算の内訳 ＜細々節名、予算額、（R6年度予算額）＞ 空家等対策協議会報償金 219千円（365千円） 空家等相談会・セミナー等講師報償金 52千円（70千円）										

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度					
事業番号	135	事業名	旧香流苑緑地再整備事業 (中事業名) 旧香流苑再整備事業		担当課		みどりの推進課					
					予算区分（款-項-目-中事業）		7-4-3-6 旧香流苑再整備事業					
					決算書ページ		- ~ -					
I 基本情報	総合計画	基本目標	6	あえて歩いてみたくなるまち								
		政策	1	外出しやすい環境の整備								
		施策	(2)	都市基盤施設の充実								
	その他	開始年度	令和7年度									
		終了予定年度	年度	☒	未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		民間事業者とのみ協働可				
		根拠法令等	無し									
		関連計画	無し									
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)				
		【対象】 ☐ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☒ その他 対象の数： 1 施設 【事業内容】 旧香流苑跡地の一部公有地として残す緑地について、今までの意見交換会の意見を踏まえつつ、緑地整備を行います。		【アクションプラン指標】 整備面積（㎡） 【その他の指標】		— (成果指標名) —		大 事 業 共 通 旧香流苑跡地に緑地を整備することで、利用者に憩いの空間を確保する。				
II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2026年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度	
		1	【アクションプラン指標】 整備面積	㎡	基準値	—	目標値	—	—	4,300	—	—
					目標値	4,300	実績	—				
		2			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		3			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		4			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		エピソード	事業開始の背景		旧香流苑跡地の利用方針について市民との意見交換を重ね、敷地面積の7割を売却、3割を市緑地として利用する方針となった。							
	各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由											
	R 6		・地域住民との意見交換会を4回開催 ・旧香流苑跡地の利用方針について、「旧香流苑土地利用計画書」として取りまとめ、緑地の在り方をゾーニングとして示し、意見交換会参加者と合意形成に至った。			R 7						
	R 8					R 9						

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標									
		—	人	年度	▶	年度	▶	【現状】	年度	▶	年度	▶	年度
		成果達成状況						指標目標値の根拠					
		— A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている											
		評価の理由、分析											
	加える変化（ACTION）	今後の方向性		今後の方向性の理由									
		B A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		令和6年度に実施した意見交換会の中でも、整備後の緑地管理の地域参画の必要性について議論を重ねてきた。今後、売却事業者及び近隣住民と意見交換を重ねつつ緑地の詳細設計を進めて行きながら、地域での維持管理の手法や内容を検討していく。									
		改善ポイント (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)											
		見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容								見直し可能年度
		1	都市公園維持管理事業	☐ 拡充 ☒ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止	緑地整備後、愛護会を設立し、指定管理費の削減を図る。								R9
2		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止											
	3		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止										
Ⅳ 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）		3年間の推移	(単位：千円)		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度		
		B A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止	事業費		予算	決算	予算	決算	予算				
			理由		—	—	—	—	10,580				
		令和7年度に緑地の詳細設計を実施し、詳細設計を元に整備工事を実施する予定			特定財源	合計額	—	—	—	—	0		
						(内 国費)	—	—	—	—	0		
						(内 県費)	—	—	—	—	0		
						(内 諸収入)	—	—	—	—	0		
						(内 その他)	—	—	—	—	0		
		一般財源			—	—	—	—	10,580				
		積算額			R7年度予算の内訳 <細々節名、予算額、(R6年度予算額)> 旧香流苑再整備詳細設計業務委託 10,580千円(0千円)								
未定													

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度					
事業番号	136	事業名	花いっぱい事業 (中事業名) 花いっぱい事業		担当課		みどりの推進課					
					予算区分（款-項-目-中事業）		5-1-5-7 花いっぱい事業					
					決算書ページ		- ~ -					
I 基本情報	総合計画	基本目標	3	みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物								
		政策	1	万博理念を継承した自然との共生								
		施策	(3)	まちの緑の創出								
	その他	開始年度	令和7年度									
		終了予定年度	年度	☒	未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働可				
		根拠法令等	無し									
		関連計画	無し									
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)				
		【対象】 ☒ 市民 ☒ 事業者 ☐ 職員 ☐ その他 対象の数： 60,000人 【事業内容】 企業等からの協賛を得て、スポンサー花壇を設置し、まちを花いっぱいにする。		【アクションプラン指標】 スポンサー団体数【累計】 【その他の指標】		花いっぱい事業に関心を持つ方が増え、スポンサー団体数が増えると共にサポーター登録も募集することで、花いっぱいの花壇が増える (成果指標名) 運用開始した花壇数		大企業や市民等が花と緑に興味を持つことにより、まちが彩り、新たなみどりが創出され、まちの魅力が向上される。				
	II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度	R9(2027)年度	R10(2028)年度
1			【アクションプラン指標】 スポンサー団体数【累計】	団体	基準値	-	目標値	-	3	6	9	9
					目標値	9	実績	-				
2					基準値		目標値					
					目標値		実績					
3					基準値		目標値					
					目標値		実績					
4					基準値		目標値					
		目標値				実績						
エピソード		事業開始の背景		まちを彩り、新たなみどりを創出するため、企業等からの協賛を得て、スポンサー花壇を設置し、まちを花いっぱいにする事となった。								
		各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由										
		R6	・市長公約の「まちを花いっぱい」を実現するため、先進事例の調査研究を行った。調査結果を踏まえ、長久手市の実情に合った要綱を検討し、令和7年4月1日で要綱策定を行った。 ・制度開始時の状況を確認する目的で、文化の家に花壇を設置し、市主体で花植えを実施した。 ・市役所看板前の花壇について、財政課と協同で花植を実施した。 ・トヨタ博物館からチューリップの球根の提供を受けたため、市役所前県道沿い花壇に植えた。			R7						
							R8				R9	

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標									
		運用開始した花壇数	箇所	4 年度	5 年度	【現状】 6 年度	7 年度	10 年度					
				-	-	-	3	9					
		成果達成状況			指標目標値の根拠								
		C	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている			現在、市役所前（5箇所）と文化の家（4箇所）を実施箇所として挙げており、後期アクションプランの末までに9箇所の花壇を運用する。							
		評価の理由、分析											
		制度開始が令和7年度からのため。											
		加える変化（ACTION）	今後の方向性	今後の方向性の理由									
				A	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		スポンサー花壇が認知され、スポンサーとして協賛いただける企業等が増加した段階で、他所の候補地を検討しスポンサー花壇を増やしていく。						
				改善ポイント (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)									
見直しの余地のある取組名				見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容			見直し可能年度					
1	スポンサー花壇事業			☒ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止	現在2か所（9区画）でスポンサー花壇の協賛を募集しているが、設置場所の検討を行い、花壇の拡充を図っていく。			R9					
2				☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止									
3				☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止									
Ⅳ 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）			R8年度の費用（R7年度比）		（単位：千円）		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度	
				B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		事業費		予算	決算	予算	決算	予算
				理由		特定財源	合計額	-	-	-	-	1,800	
		令和7年度からの新規事業であるため、令和8年度についても現状維持にて事業の展開を図る。		(内 国費)	-		-	-	-	0			
				(内 県費)	-		-	-	-	0			
				(内 諸収入)	-		-	-	-	1,800			
				(内 その他)	-		-	-	-	0			
		積算額		一般財源	-	-	-	-	0				
		3年間の推移		R7年度予算の内訳 <細々節名、予算額、（R6年度予算額）> 消耗品費 1,350千円（0千円） スポンサー花壇維持管理報償金 450千円（0千円）									